津留地区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

津留地区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

平素より「津留地区社会福祉協議会」の活動に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、大分市においては、令和６年度より第５期大分市地域福祉計画・第６次地域福祉活動計画に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

現在は、超高齢社会、人口減少、単身世帯の増加など、様々な要因により生活をする上での地域が抱える課題が複雑・多様化しています。

「安心・安全、犯罪が少なく住みやすい」といわれています津留地区におきましても同様の課題を抱えています。これらを少しでも解決するために「地域の住民」が共に助け合い「安心・安全」に暮らせるまちづくりを目指し、福祉活動を推進しています。

具体的には、一人暮らし高齢者等、５２８人を対象に「ふれあい活動」（小地域福祉ネットワーク活動）を行っています。そして令和６年９月に、この５２８人の皆様に「実態調査」を実施した結果、津留地区の課題・問題が明らかになりました。

この結果に基づき、各方面の方々のご協力を頂き、今後、津留地区の地域福祉が一層図られることを目的とし「津留地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

今後この計画が福祉活動の発展につながることを切に祈念いたします。

最後に、この計画の策定にご協力頂きました関係者の皆様に心より感謝を申し上げ、策定にあたっての挨拶といたします。

津留地区社会福祉協議会
会長　　伊妻　寛

目　次

第１章　はじめに　1

（1）計画策定の背景　1
（2）大分市社会福祉協議会とは　1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは　1

第2章　津留地区について　2

（1）津留地区の概要　2
（2）津留地区社会福祉協議会について　2
（3）人口推移　2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状　3
（5）高齢者サロンについて　5
（6）老人クラブについて　6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査　7

基本目標1：「お互いに支え合うひとづくり」に関する設問　8
基本目標2：「地域で支え合う場づくり」に関する設問　10
基本目標3：「誰もが安心して暮らすための体制づくり」に関する設問　11

第4章　津留地区の活動計画と策定までのプロセス　17

（1）目標と具体的取り組み　17
（2）計画策定メンバー　20
（3）実施経過　20

第5章　資料編　21

（1）実態調査票　21
（2）実態調査集計結果　24

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

津留地区は、大分市の東部に位置し、大分川と裏川に挟まれた地域です。区内には大洲運動公園があり、総合公園の平和市民公園にも隣接しています。文化、スポーツ、散策など、幅広く楽しむことのできる商業及び住宅地です。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、地域に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「津留地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたい町、津留地区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という２つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に 45 の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動（ふれあい活動〔小地域福祉ネットワーク活動〕や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など）を展開しています。

第2章　津留地区について

（1）津留地区の概要

◇津留地区は、大分市の東部に位置し、大分川と裏川に挟まれた地域です。区内には大洲運動公園があり、総合公園の平和市民公園にも隣接しています。文化、スポーツ、散策など、幅広く楽しむことのできる商業及び住宅地です。

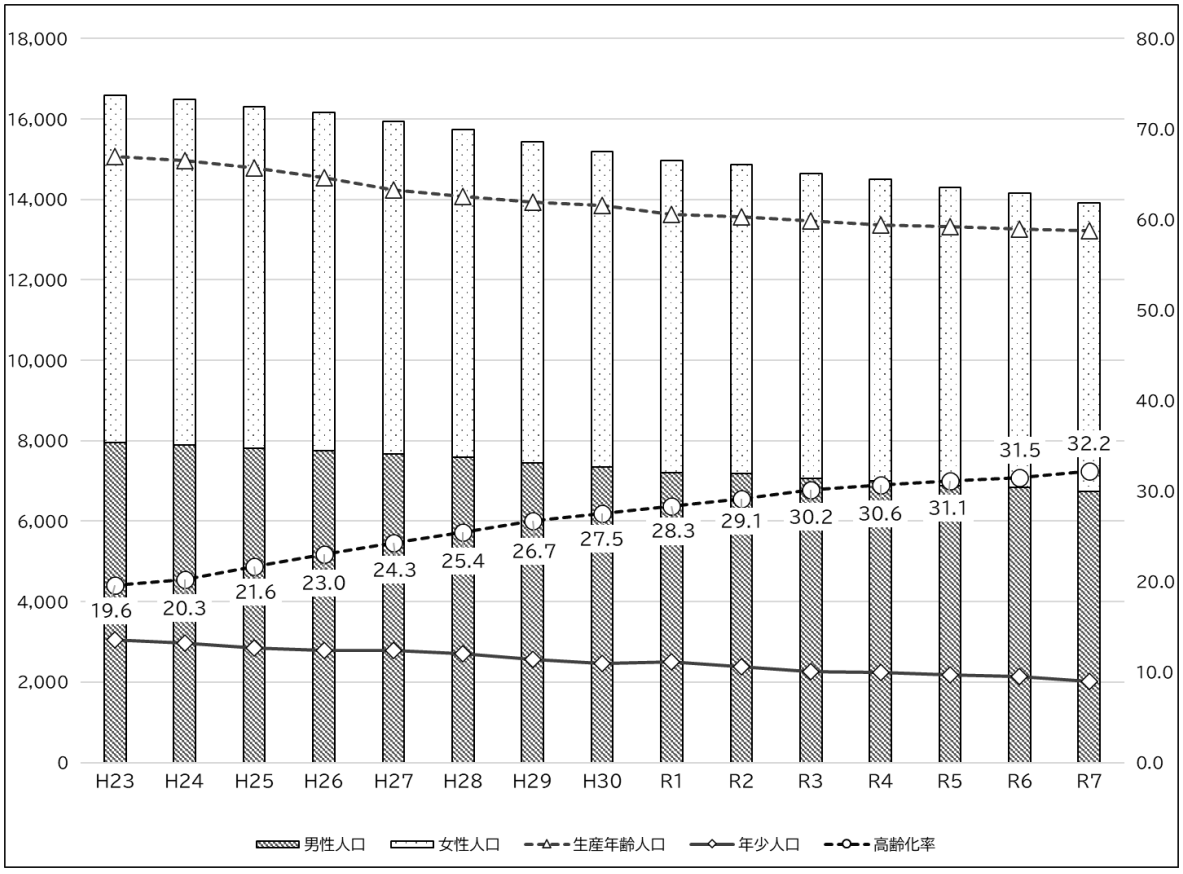
◇19 の自治会区と 32 の民生委員・児童委員区、2 名の主任児童委員、関係団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

（2）津留地区社会福祉協議会について

◇昭和 29 年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 4 月時点）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　550 人　　④緊急連絡先のない対象者　32 人

②ふれあい協力者　225 人　　⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　25 人

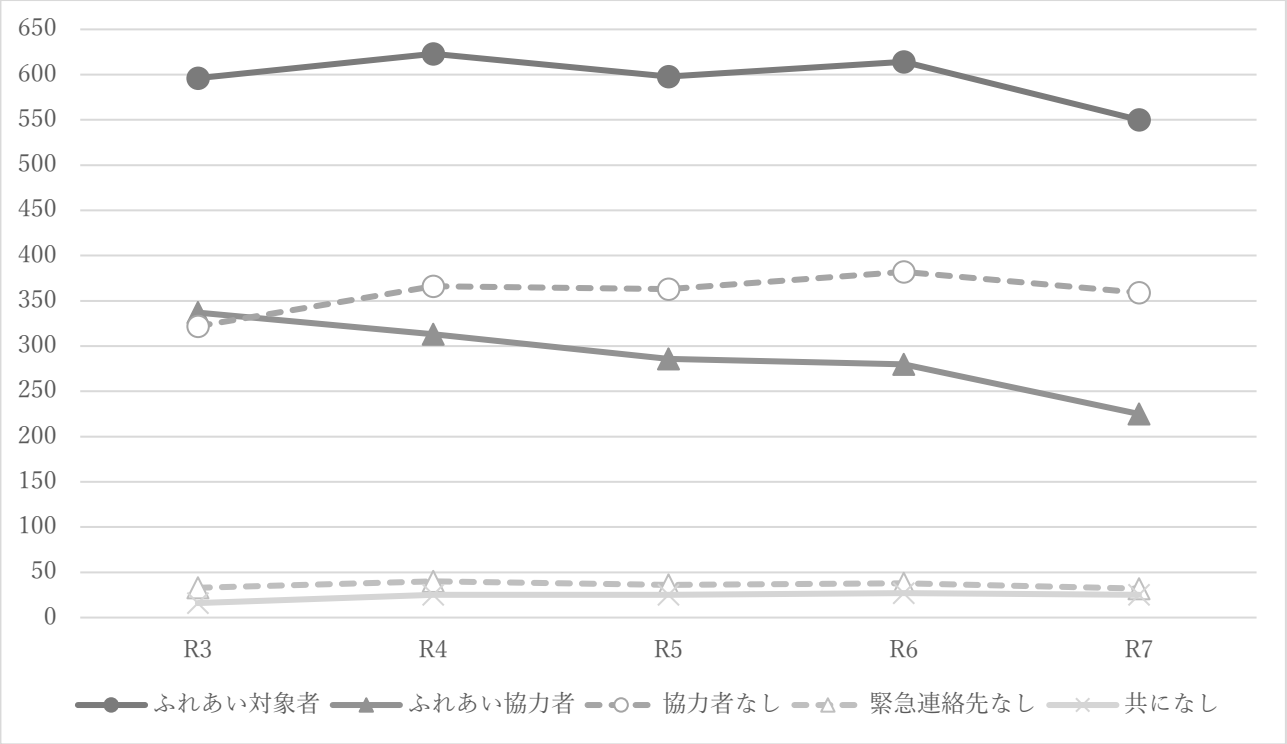
③協力者のいない対象者　359 人　　（令和 7 年 4 月 1 日現在）

番号	自治会名	自治会長	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	民生委員	①	②	③	④	⑤
1	今津留	三重野　敏彦	59	24	41	3	3	1	今津留１丁目	池辺　民子	22	6	16	3	3
								2	今津留２丁目	三重野　順子	14	13	6	0	0
								3	今津留３丁目	三重野　美紀子	23	5	19	0	0
2	中津留	河野　武	33	17	21	3	3	4	中津留１丁目	田島　美枝子	13	1	12	1	1
								5	中津留２丁目	若杉　由美	20	16	9	2	2
3	花津留	石川　洋一郎	42	9	38	4	4	6	花津留１丁目	小野　静江	26	8	23	1	1
								7	花津留２丁目	中西　優子	16	1	15	3	3
4	東浜１丁目	井上　弘	16	1	15	2	2	8	東浜１丁目	山中　千繪子	16	1	15	2	2
5	東浜２丁目	宮﨑　正基	35	18	21	1	1	9	東浜２丁目（１～１２番）	河野　惠子	13	13	4	0	0
								10	東浜２丁目（１３～２２番）	田邊　恵子	22	5	17	1	1
6	大洲浜	秦　豊志	8	3	4	0	0	11	大洲浜	河野　淳子	8	3	4	0	0
7	西新地	大坪　賢司	28	21	13	0	0	12	西新地１丁目、２丁目（県営大空第２住宅を除く）	山口　宏美	28	21	13	0	0
								13	西新地２丁目の県営大空第２住宅	宇髙　恵子	7	3	4	0	0
8	大津町１丁目	廣岩　俊彦	28	5	24	5	5	14	大津町１丁目、西浜	堀越　秀雄	28	5	24	5	5
9	大津町２丁目	嶋末　洋子	33	7	26	0	0	15	大津町２丁目（東）（県営1A6、1A8、2A5、2A7）	後藤　秀子	19	4	15	0	0
								16	大津町２丁目（西）（県営2A9、市営1A1、1A2、2A1）	倉原　眞由美	14	3	11	0	0
10	大津町３丁目	吉田　省三	55	39	23	0	0	17	大津町３丁目１番～２番	三ヶ田　真由美	29	27	8	0	0
								18	大津町３丁目（３番～４番）	太田　令子	19	9	11	0	0
11	南津留	三重野　高美	16	9	7	1	1	19	南津留（１～１６番）	三重野　誠二	10	4	6	1	1
								20	南津留（１７～２５番）	三重野　美知子	6	5	1	0	0
12	東津留	河野　慶博	25	6	20	5	3	21	東津留１丁目	工藤　ナリ子	7	5	3	2	0
								22	東津留２丁目	堤　眞理子	18	1	17	3	3
13	岩田町１丁目	稲田　昭徳	13	7	7	0	0	23	岩田町１丁目、４丁目西	欠　員	14	7	8	0	0
14	岩田町４丁目	河野　幸一	5	2	3	0	0								
15	岩田町２丁目	伊妻　寛	10	1	9	2	1	24	岩田町２丁目	亀井　寛子	10	1	9	2	1
16	岩田町３丁目	安部　聡	29	8	22	0	0	25	岩田町３丁目（１～１３番）	永松　愛子	21	3	18	0	0
								26	岩田町３丁目（１４～２６番）	武藤　玲子	8	5	4	0	0
17	岩田団地	藤沢　敏明	60	21	36	2	0	27	岩田団地（１）（1A6、1A7、2A5）	松本　瑞穂	18	4	14	0	0
								28	岩田団地（２）（1A1、1A,2、1A3、2A4）	濱田　真由美	22	7	15	2	0
								29	岩田団地（3）（1A9、1A10、2A8）	佐田　信子	24	11	9	0	0
18	古ケ鶴	池部　和信	34	12	23	4	2	30	古ケ鶴１丁目	美野　健次	26	10	17	3	2
								31	古ケ鶴２丁目	分藤　邦子	9	2	7	1	0
19	裏川団地	大保　佐恵子	21	16	6	0	0	32	裏川団地	岩田　勝	20	16	5	0	0

津留地区のふれあい対象者の推移

（令和７年４月１日現在）

津留地区	R3	R4	R5	R6	R7
ふれあい対象者	596	623	598	614	550
ふれあい協力者	337	313	286	280	225
協力者なし	322	366	363	382	359
緊急連絡先なし	33	40	36	38	32
共になし	16	25	25	27	25



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長や民生委員・児童委員などにつなげ、地域での見守り合い・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

(5)高齢者サロンについて

津留地区内にある高齢者サロンは６ヶ所です。　　（令和７年４月現在）

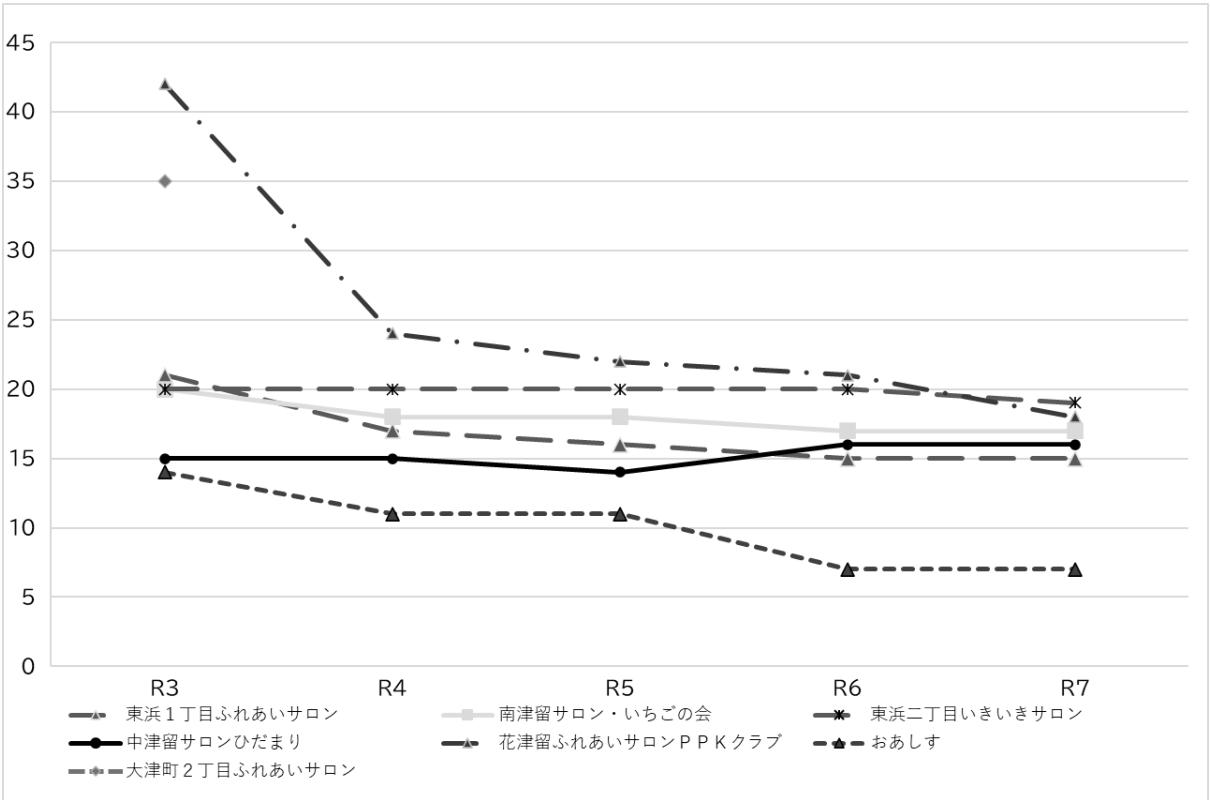
	自治会名	サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
1	東浜１丁目	東浜１丁目ふれあいサロン	東浜１丁目自治公民館	24	15	H14.10.8
2	南津留	南津留サロン・いちごの会	南津留公民館	40	17	H15.5.29
3	東浜２丁目	東浜二丁目いきいきサロン	東浜二丁目公民館	24	19	H19.11.30
4	中津留	中津留サロンひだまり	中津留公民館	11	16	H22.3.16
5	花津留	花津留ふれあいサロンＰＰＫクラブ	花津留公民館・公園	53	18	H22.7.27
6	大津町３丁目	おあしす	大空県営集会所	19	7	H24.5.31

津留地区での高齢者サロン参加者の推移

	自治会名	サロン名	R3	R4	R5	R6	R7
1	東浜１丁目	東浜１丁目ふれあいサロン	21	17	16	15	15
2	南津留	南津留サロン・いちごの会	20	18	18	17	17
3	東浜２丁目	東浜二丁目いきいきサロン	20	20	20	20	19
4	中津留	中津留サロンひだまり	15	15	14	16	16
5	花津留	花津留ふれあいサロンＰＰＫクラブ	42	24	22	21	18
6	大津町３丁目	おあしす	14	11	11	7	7
7	大津町２丁目	大津町２丁目ふれあいサロン	35	-	-	-	-

※「大津町２丁目ふれあいサロン」は令和４年度に休止、令和５年度をもって大分市地域ふれあいサロン事業への登録が廃止となりました。

津留地区での高齢者サロン参加者の推移の図



※「大津町２丁目ふれあいサロン」は令和４年度に休止、令和５年度をもって大分市地域ふれあいサロン事業への登録が廃止となりました。

(6)老人クラブについて

津留地区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは 10 ヶ所あります。

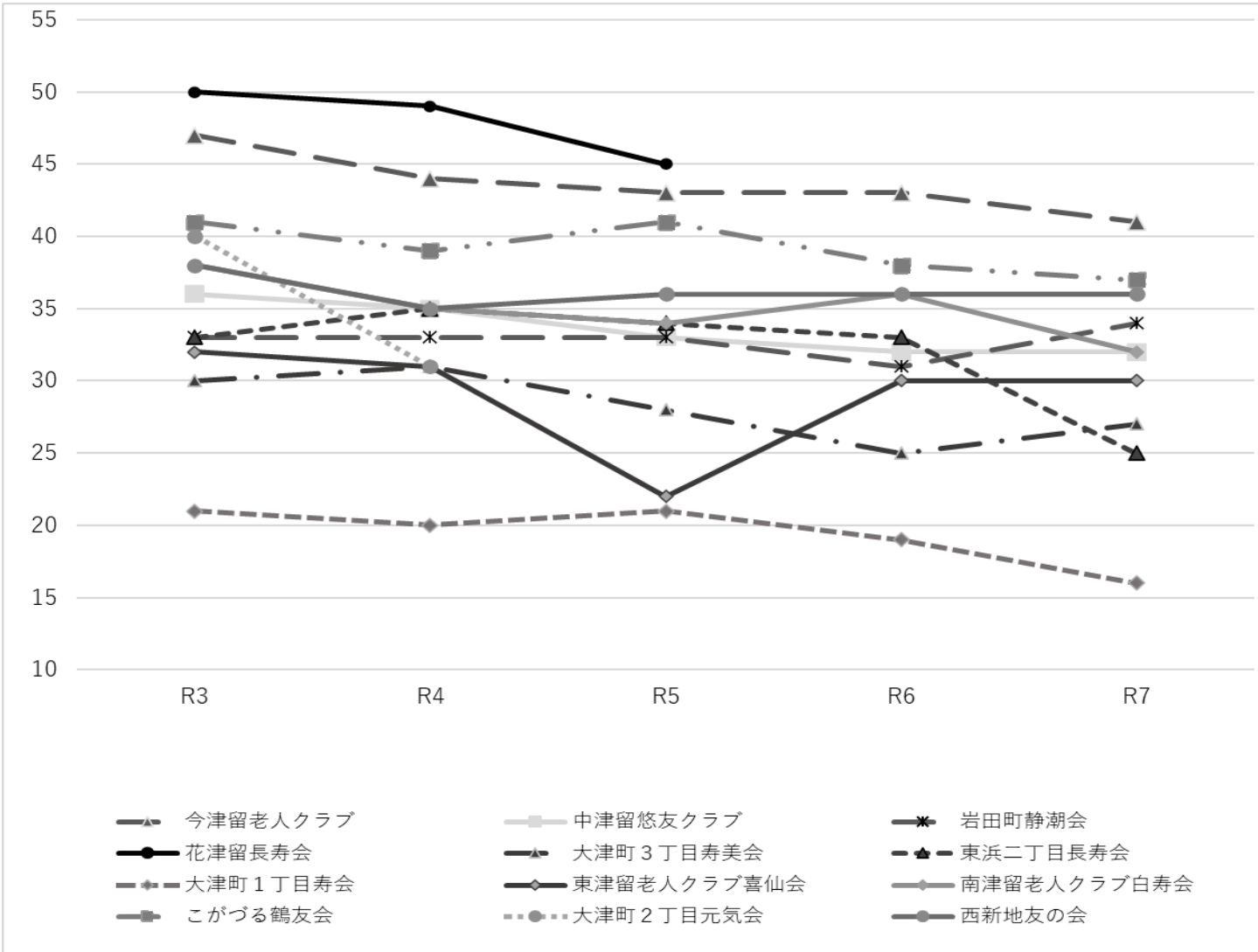
（令和 7 年 4 月現在）

老人クラブの参加者推移

	自治会名	老人クラブ名	R3	R4	R5	R6	R7
1	今津留	今津留老人クラブ	47	44	43	43	41
2	中津留	中津留悠友クラブ	36	35	33	32	32
3	岩田町２丁目	岩田町静潮会	33	33	33	31	34
4	花津留	花津留長寿会	50	49	45	-	-
5	大津町３丁目	大津町３丁目寿美会	30	31	28	25	27
6	東浜２丁目	東浜二丁目長寿会	33	35	34	33	25
7	大津町１丁目	大津町１丁目寿会	21	20	21	19	16
8	東津留	東津留老人クラブ喜仙会	32	31	22	30	30
9	南津留	南津留老人クラブ白寿会	38	35	34	36	32
10	古ケ鶴	こがづる鶴友会	41	39	41	38	37
11	大津町２丁目	大津町２丁目元気会	40	31	-	-	-
12	西新地	西新地友の会	38	35	36	36	36

※大津町２丁目元気会は令和４年度をもって、廃止となりました。

※花津留長寿会は令和５年度をもって、廃止となりました。



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、津留地区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	令和6年7月23日～令和6年9月17日
対　象	津留地区内のふれあい対象者　528名 （令和6年7月23日現在の対象者数）
回答者数	478名
回答率	90.5%
調査協力者	津留地区民生委員・児童委員の方々

大分市社会福祉協議会では、第５期大分市地域福祉計画・第６次地域福祉活動計画に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「お互いに支え合うひとづくり」「地域で支え合う場づくり」「誰もが安心して暮らすための体制づくり」をかかげています。

今回の実態調査では、この３つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

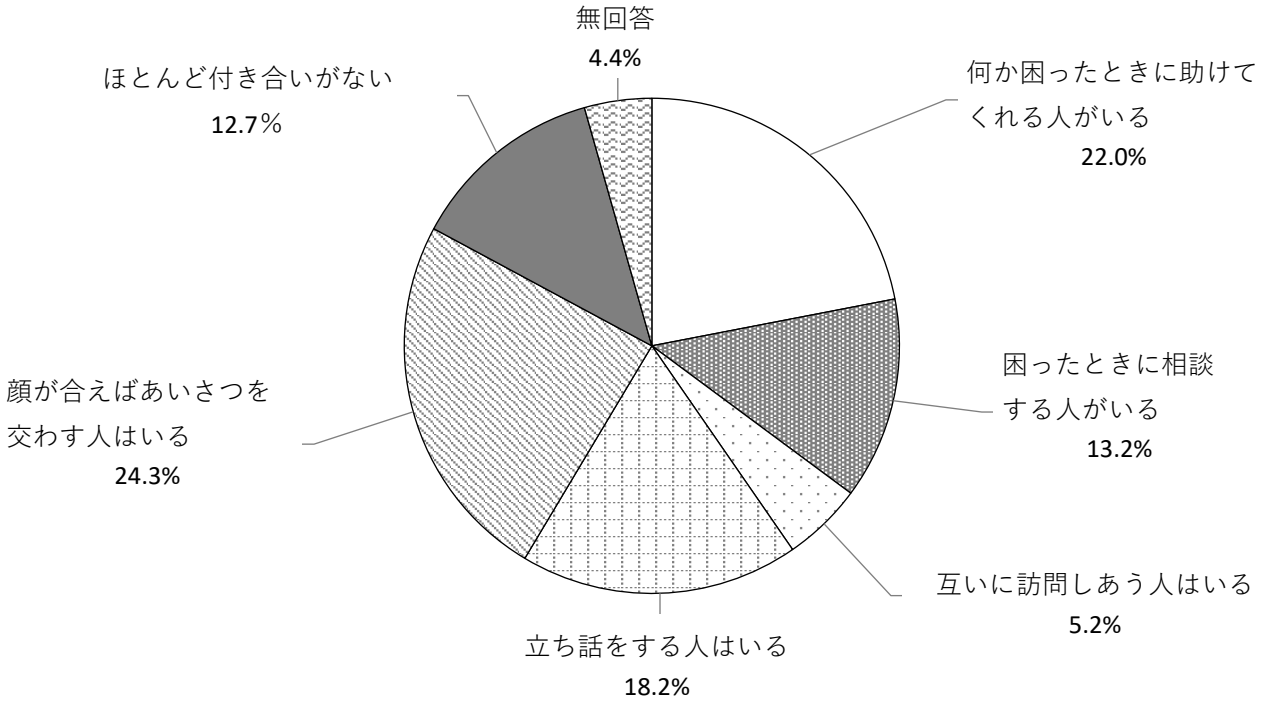
基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

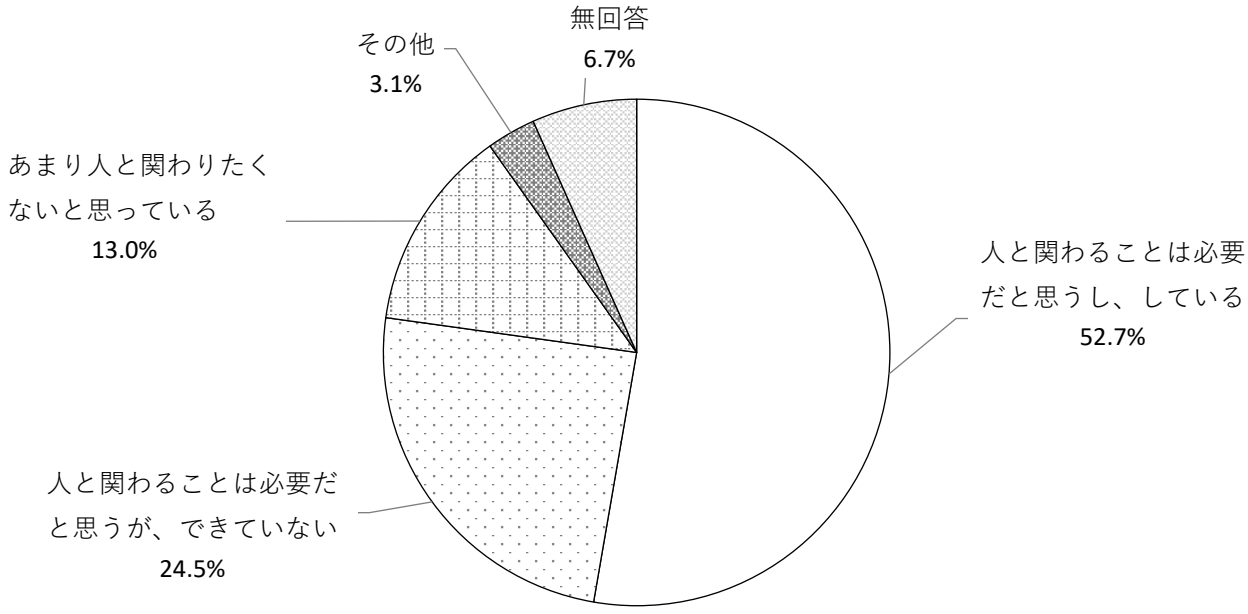
基本目標1:「お互いに支え合うひとづくり」に関する設問

近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

近所づきあいの程度については、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 24.3%と最も高く、次いで、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 22.0%、「立ち話をする人はいる」が 18.2%となっている。なお、「ほとんど付き合いがない」は 12.8%となっている。

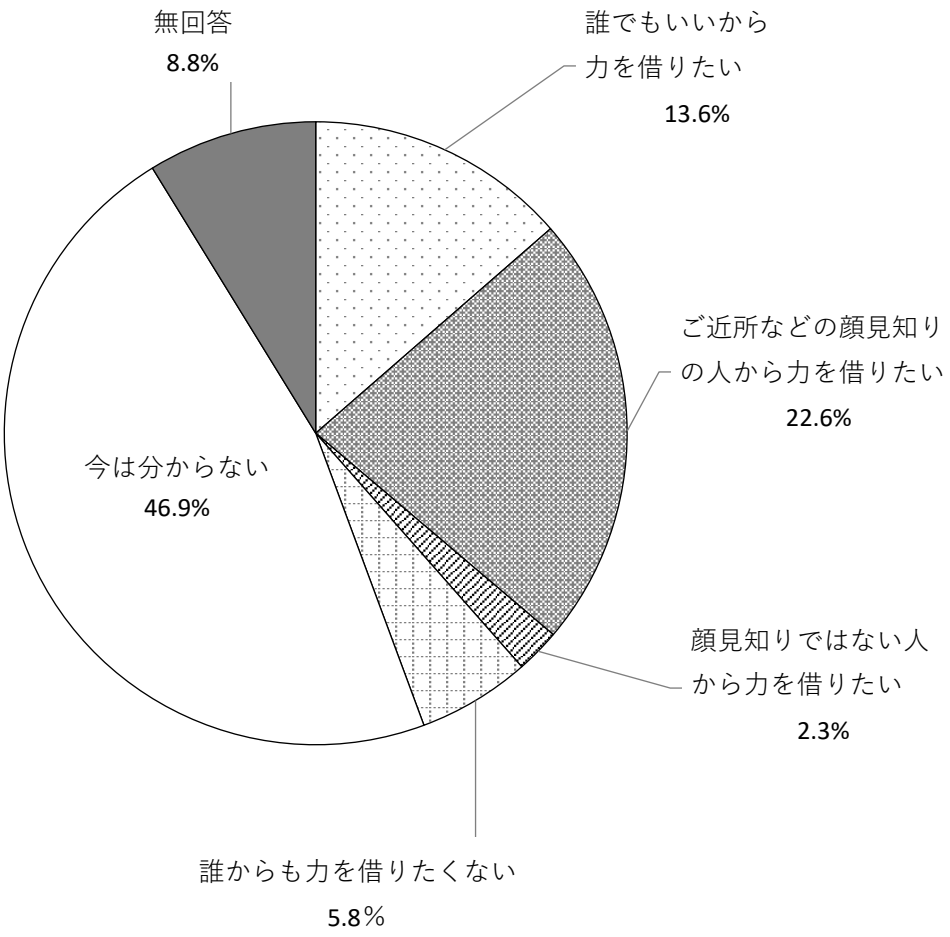
近所づきあいの考え方については、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 52.7%と最も高く、次いで、「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 24.5%となっている。なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 13.0%となっている。





日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 10）

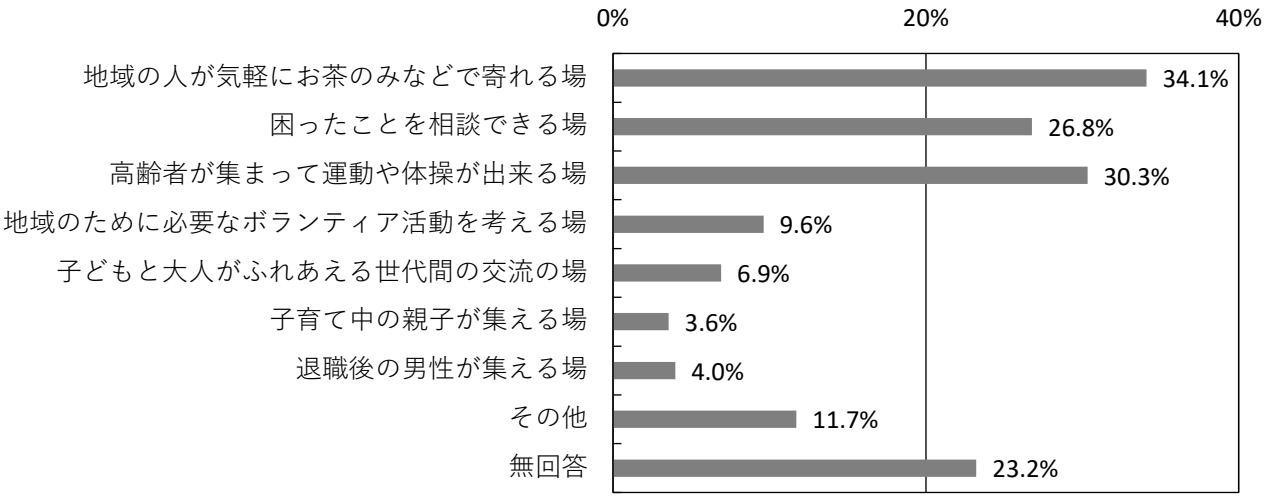
日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方が多い傾向にある。



基本目標2:「地域で支え合う場づくり」に関する設問

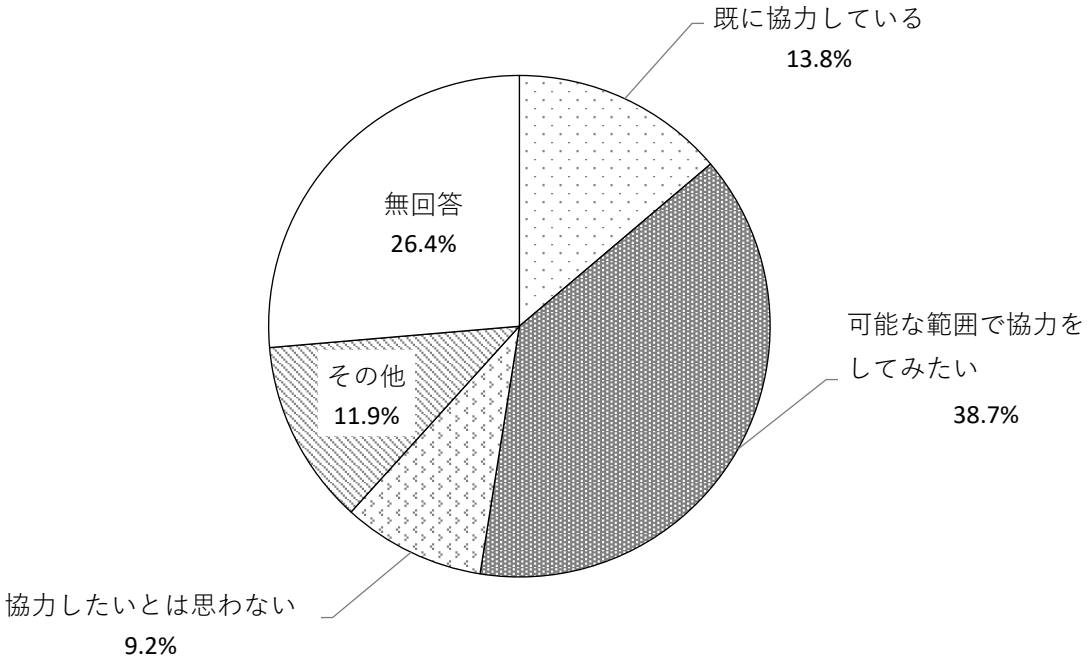
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫(問 17)

必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 34.1%と最も高く、次いで、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 30.3%、「困ったことを相談できる場」が 26.8%、となっている。



地域の行事や活動に協力してみたいと思うか(問 20)

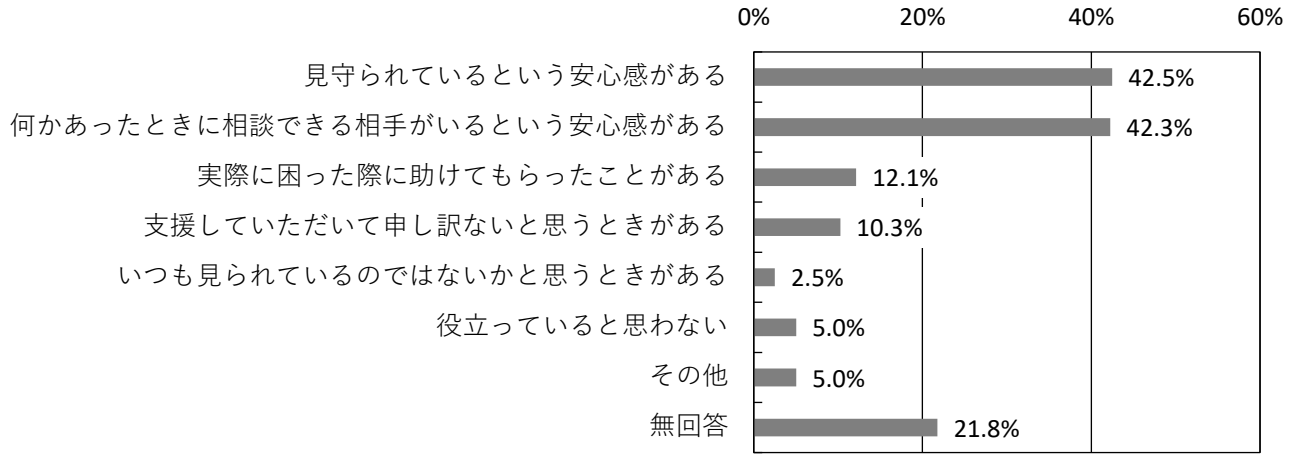
地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 13.8%、「可能な範囲で協力をしてみたい」が 38.7%、「協力したいとは思わない」が 9.2%、「その他」が 11.9%となっている。



基本目標3:「誰もが安心して暮らすための体制づくり」に関する設問

「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「見守られているという安心感がある」が 42.5%と最も高く、次いで「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 42.3%となっている。

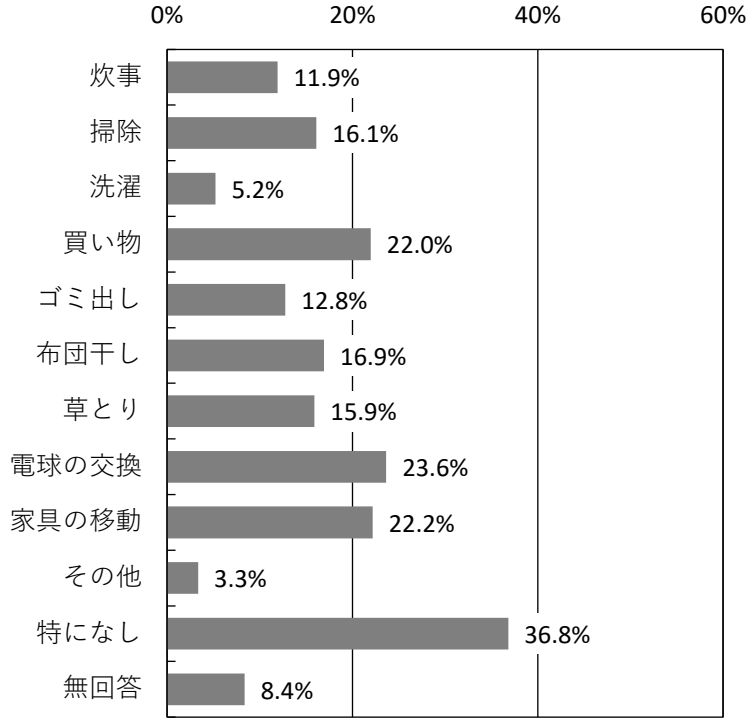


日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「電球の交換」が 23.6%と最も高く、次いで、「家具の移動」が 22.2%、「買い物」が 22.0%となっている。なお、「特になし」は 36.8%となっている。

(N=478)

	回答数	割合
炊事	57	11.9%
掃除	77	16.1%
洗濯	25	5.2%
買い物	105	22.0%
ゴミ出し	61	12.8%
布団干し	81	16.9%
草とり	76	15.9%
電球の交換	113	23.6%
家具の移動	106	22.2%
その他	16	3.3%
特になし	176	36.8%
無回答	40	8.4%

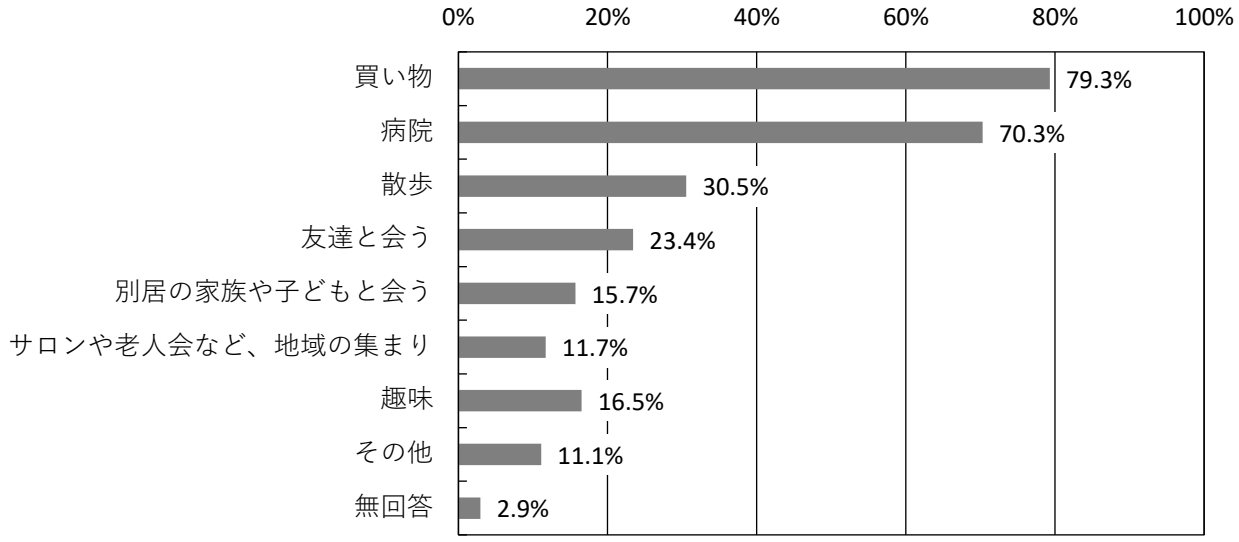


外出の理由（問 11）

外出の理由については、「買い物」が 79.3%と最も高く、次いで、「病院」が 70.3%、「友達と会う」が 23.4%となっている。

（N=478）

	回答数	割合
買い物	379	79.3%
病院	336	70.3%
散歩	146	30.5%
友達と会う	112	23.4%
別居の家族や子どもと会う	75	15.7%
サロンや老人会など、地域の集まり	56	11.7%
趣味	79	16.5%
その他	53	11.1%
無回答	14	2.9%

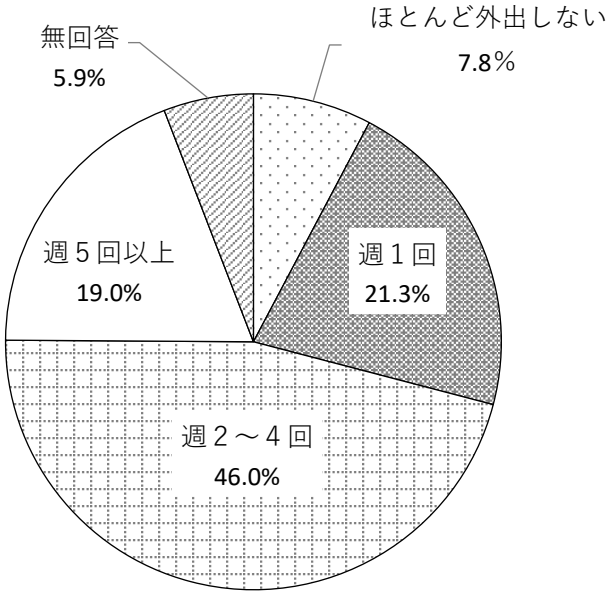


外出の頻度（問 12）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 46.0%と最も高く、次いで、「週 1 回」が 21.3%、「週 5 回以上」が 19.0%となっている。なお、「ほとんど外出しない」は 7.7%となっている。

（N=478）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	37	7.8%
週 1 回	102	21.3%
週 2 ～ 4 回	220	46.0%
週 5 回以上	91	19.0%
無回答	28	5.9%



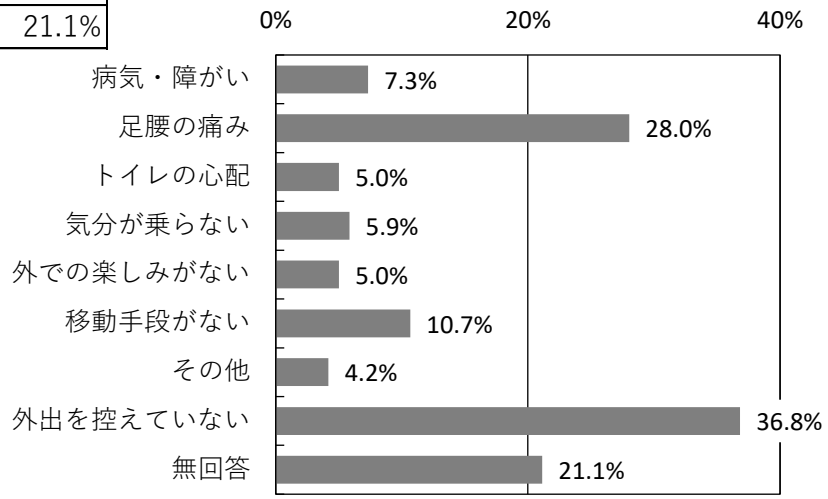
外出を控える理由（問 13）

外出を控える理由については、「足腰の痛み」が 28.0%と最も高く、次いで、「移動手段がない」が 10.7%、「病気・障がい」が 7.3%となっている。

なお、「外出を控えていない」は 36.8%となっている。

（N=478）

	回答数	割合
病気・障がい	35	7.3%
足腰の痛み	134	28.0%
トイレの心配	24	5.0%
気分が乗らない	28	5.9%
外での楽しみがない	24	5.0%
移動手段がない	51	10.7%
その他	20	4.2%
外出を控えていない	176	36.8%
無回答	101	21.1%

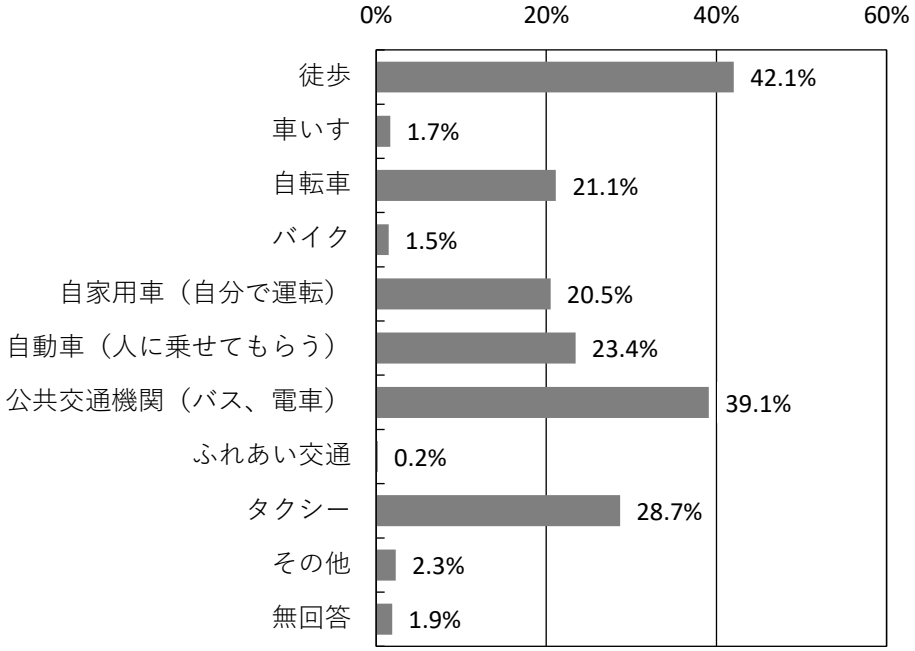


主な外出の移動手段（問 14）

主な外出の移動手段については、「徒歩」が 42.1%と最も高く、次いで、「公共交通機関（バス、電車）」が 39.1%、「タクシー」が 28.7%となっている。

（N=478）

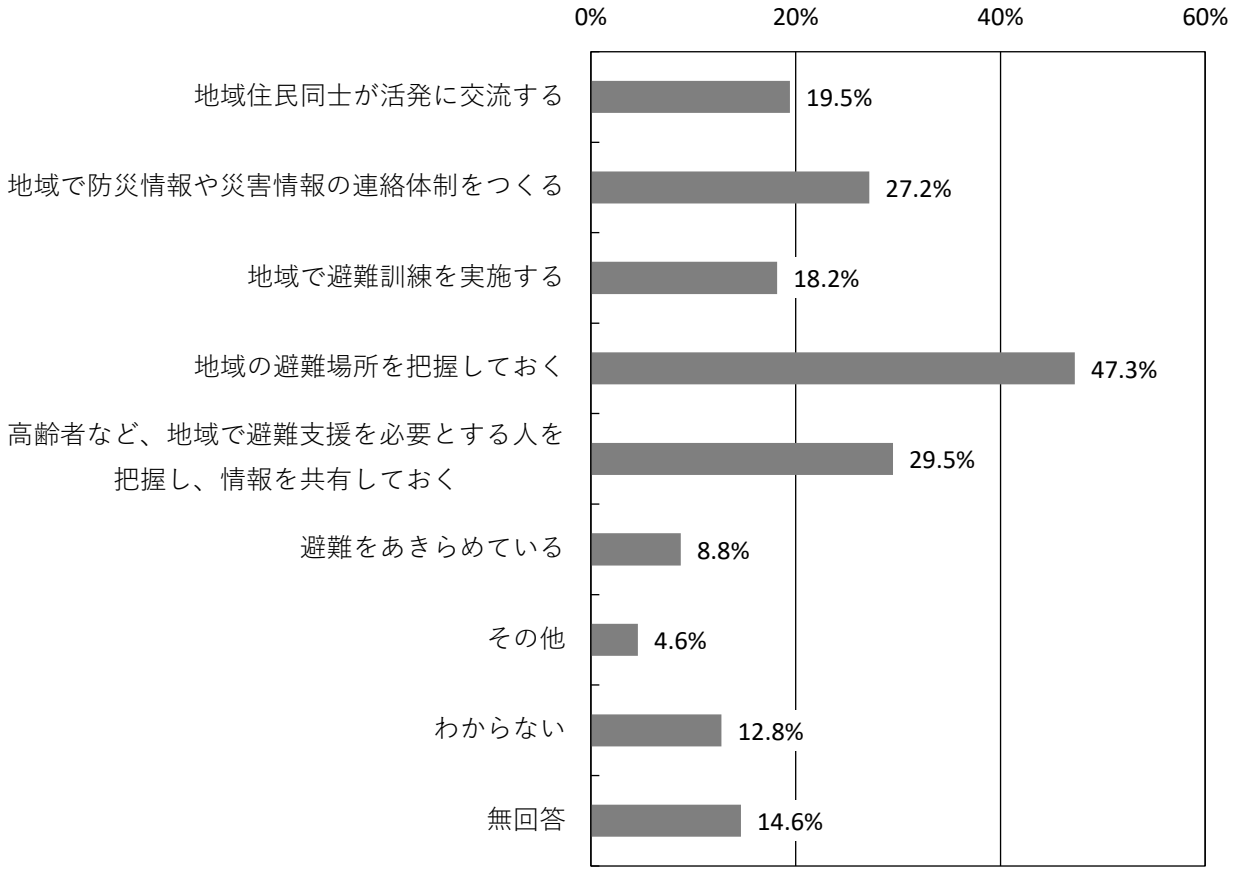
	回答数	割合
徒歩	201	42.1%
車いす	8	1.7%
自転車	101	21.1%
バイク	7	1.5%
自家用車（自分で運転）	98	20.5%
自動車（人に乗せてもらう）	112	23.4%
公共交通機関（バス、電車）	187	39.1%
ふれあい交通	1	0.2%
タクシー	137	28.7%
その他	11	2.3%
無回答	9	1.9%



災害に備えた地域ぐるみの準備とは（問 18）

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 47.3%と最も高く、次いで、「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」が 29.5%、「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」が 27.2%となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 8.8%、「わからない」は 12.8%となっている。



第4章　津留地区の活動計画と策定までのプロセス

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

津留地区社協の目標１

生活上の困りごとに対応できる体制づくりを進めよう

実態調査の結果から、電球の交換や家具の移動、買い物など、日常の困りごとを抱えている方が一定数いる事が分かりました。また、津留地区は集合住宅が多く、高層階に住んでいる方々は特に困りごとを抱えていることが予想されます。

そこで、地区社協として生活上の軽微な困りごとに対応する仕組みづくりについて検討していきます。

活動の方向性（具体的取り組み）

・日常生活の困りごとの把握、共有を行う

・日常生活の困りごとに対する支援の仕組みづくりの検討を行う

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・団地やマンション等が多いこともあり、上の方に住まれている方は色々困っていることがあるのではないかと思う。
・団地の昇り降りが大変で、外出を控えている人もいる。
・地域活動に参加したくても、身体上の理由などで参加が難しい人がいる。
・民生委員に対して困りごとを頼む人がいる。断るようにしてもらっているが、民生委員に頼まれると困る。
・民生委員にはトラブル防止のため、家の中には入らず、玄関までで声かけをしてもらうようにお願いしている。

～提案・対応策～

・民生委員さんを中心に見守りをしてくれているが、困りごとを抱えている方へ支援ができるような体制を作りたいと思う。
・有料で対応できるようなチームを作って、対応できればいいのではないかと思う。
・知らない人が助けるよりも、身近な人で助けられるといいのではないか。
・公的なサービスについても、該当する人に情報発信をしていく必要があるのではないか。
・有償で活動を実施すれば、活動に協力してくれるボランティアは集まるのではないか。
・地区内の他の活動において民生委員ではない人が活動に協力してくれていることがある。そういう人たちに、この活動にも協力してもらえないかと考えている。

津留地区社協の目標２

ふれあい活動（見守り・声かけ・話し合い）を充実させよう

津留地区では、民生委員を中心に見守り活動を実施していますが、集合住宅の増加や訪問拒否等、見守りをする上での課題があります。そこで、それらの課題に地域全体として取り組んでいくために、自治会長や民生委員、主任児童委員等の福祉活動者で活動状況の共有を行い、課題の解決に向けて検討を行います。また、既存の住民が集う場についても、活動を継続していく為に、代表者等での意見交換会等の実施を検討します。

活動の方向性（具体的取り組み）

・自治会長と民生委員、主任児童委員等が集って、活動状況の共有を行う。
・見守り活動を行う上での困りごとについて、関係者で解決策を検討する。
・既存の集いの場の代表者間での情報共有を行う。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・集合住宅やオートロックが増えており、見守り活動に苦労している。
・地域の集まりや活動に参加しないような引きこもっている人が心配。近所づき合いを拒む人の見守りが一番重要であると思う。
・校区の活動者間で見守りの状況や地域活動等に関して、情報共有や意見交換をできる場が少ない。
・主任児童委員は、自分の地区の自治会長としか接点がない状況にある。
・サロン等、住民が集まる場等を通して、独居の方の安否確認をしている。
・活動を支えるボランティアや支援者が少なくなったことで活動がなくなっている。
・コロナ禍以前は、自治会長と民生委員で話し合う場を実施していた。

～提案・対応策～

・ふれあい活動を充実する中で、民生委員の困りごとを出して、みんなで知恵を出して解決策を考える場が必要ではないか。
・コロナ禍以前は、自治会長と民生委員の懇談会をしていた。地域の高齢者の困りごとは、自治会長も分かっていると思う。自治会長と民生委員の集いを見直した方が良いと思う。
・毎月の清掃活動等、日ごろの作業を伴う行事の中での安否確認も重要だと思う。
・津留地区全体で集まると人数が多くなるので、南と北で分かれて実施すれば、より地域の課題が見えてくるのではないかと思う。
・各自治会に任せるしかない部分もあると思う。地域によってふれあい対象者の人数や状況も違うので、地区全体を均一的に進めていくのは難しいと思う。
・自治会長と民生委員で持っている情報が異なる。お互いの情報を照らし合わせることが必要だと思う。

津留地区社協の目標３

多くの方に地区社協の活動を知ってもらおう

津留地区では、高齢者サロンや子育てサロン、老人会など地域住民が集える場が多く実施されています。しかし、それぞれの集いの場の実態や活動状況が見えず、参加者が減少傾向にありました。そこで、地域住民に対して津留地区で実施している活動を周知する為に「社協だより」を作成し、活動の周知を行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

・社協だよりを作成し、サロンや地域の活動についての周知を行う。
・地域住民が活用できる制度やサービスについての情報発信を行う。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・サロンが地区内に６か所あるが、それぞれどのような活動をしているのか分からない人が多いのではないか。
・公的な支援や制度の利用が必要な人に対して、その情報が伝わっていないのではないか。
・一人暮らしの方で詐欺にあわれた方がいた。広報やサロンの場などを活用して、未然に防げるように、周知、啓発が必要。

～提案・対応策～

・津留地区にはサロンが６つあるが、どのような活動か分からない人が多いと思うので、社協だよりで発信ができると良いと思う。
・「つる・でんでん虫」という未就学児向けのサロンも実施している。その活動も PR して、もっと地域に広く参加を呼びかけて行きたい。
・老人クラブも 10 カ所あるので、紹介をしていきたい。
・情報を知らない人は、人が集まる場や様々な制度を使うことができない。社協だよりのようなものを作成し、ふれあい対象者だけでも、必要な情報を知ってもらえたらと思う。
・回覧板や掲示板ではなかなか見てくれる人はいない。対象になりそうな人に絞って広報を配布してもいいのかもしれない。
・不審者情報等を発信している「まもメール」の内容を高齢者にも伝わるように周知してはどうか。

(2)計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	津留地区社会福祉協議会	会長	伊妻　寛
2	津留地区社会福祉協議会	副会長・公民館長	池部　和信
3	津留地区社会福祉協議会	副会長・青少協会長	三重野　敏彦
4	津留地区社会福祉協議会	事務局長	小野　佳子
5	津留地区民生委員児童委員協議会	会長	堀越　秀雄
6	津留地区民生委員児童委員協議会	副会長・地域福祉推進委員	三重野　誠二
7	津留地区民生委員児童委員協議会	副会長・地域福祉推進委員	山中　千繪子
8	津留地区民生委員児童委員協議会	会計	岩田　勝
9	津留地区民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員	三ケ田　真由美
10	津留地区民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員	田島　美枝子
11	津留地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	西田　洋子
12	津留地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	石川　恵
13	津留地区自治会連合会	会長	秦　豊志
14	津留地区まちづくり協議会	会長	河野　武
15	津留地区老人クラブ連合会	会長	筒井　好和

(3)実施経過

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

今後とも、津留地区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますようお願いいたします。

開催日	内容
令和６年６月２５日（火）13：30～	事業説明及び協力依頼 （津留地区民児協定例会）
令和６年６月２５日（火）～令和６年７月８日（月）	実態調査対象者整備活動 （ふれあい対象者等整理）
令和６年７月２３日（火）13：30～	実態調査説明会（津留地区民児協定例会）
令和６年７月２３日（火）～令和６年９月１７日（火）	実態調査期間
令和７年１月８日（水）13：30～	事務局打ち合わせ （実態調査結果の報告）
令和７年２月１０日（月）15：00～	計画策定委員への実態調査結果報告
令和７年２月１８日（火）13：30～	調査員（民生委員）への実態調査結果報告
令和７年３月１８日（火）15：00～	第１回話し合い
令和７年４月１５日（火）13：30～	第２回話し合い
令和７年５月２０日（火）15：00～	第３回話し合い

第5章　資料編

(1)実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問１】あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

【問２】あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳
５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

【問３】居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家
３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅
６）その他（　　）

【問４】家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居
５）その他（　　）

【問５】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満
４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

【問６】あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない
４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態
６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

【問７】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）炊事　　２）掃除　　３）洗濯　　４）買い物　　５）ゴミ出し
６）布団干し　　７）草とり　　８）電球の交換　　９）家具の移動
10）その他（　　）
11）特になし

【問８】その他に、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）医療や介護のこと　　２）経済的なこと　　３）地域の人とのつきあい
４）その他（　　）　　５）困っていることはない

【問９】困った時に相談する相手はいますか。（○はいくつでも）

１）家族・親族　　２）友人・知人　　３）自治会長　　４）民生委員
５）ふれあい協力者　　６）専門家（医師、地域包括支援センターなど）
７）その他（　　）　　８）相談できる人はいない

【問１０】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

１）誰でもいいから力を借りたい
２）ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
３）顔見知りではない人から力を借りたい
４）誰からも力を借りたくない
５）今は分からない

日常的な外出についてお尋ねします

【問１１】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　２）病院　３）散歩　４）友達と会う　５）別居の家族や子どもと会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味　８）その他（　　）

【問１２】お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　２）週１回　３）週２～４回　４）週５回以上

【問１３】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　２）足腰の痛み　３）トイレの心配　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　６）移動手段がない　７）その他（　　）
８）外出を控えていない

【問１４】外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　２）車いす　３）自転車　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問１５】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　６）ほとんど付き合いがない

【問１６】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

【問１７】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場　２）困ったことを相談できる場
３）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
４）地域のために必要なボランティア活動を考える場
５）子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
６）子育て中の親子が集える場　７）退職後の男性が集える場
８）その他（　　）

【問１８】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問１９】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

【問２０】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

１）既に協力している
２）可能な範囲で協力をしてみたい
３）協力したいとは思わない
４）その他（　　）

【問２１】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

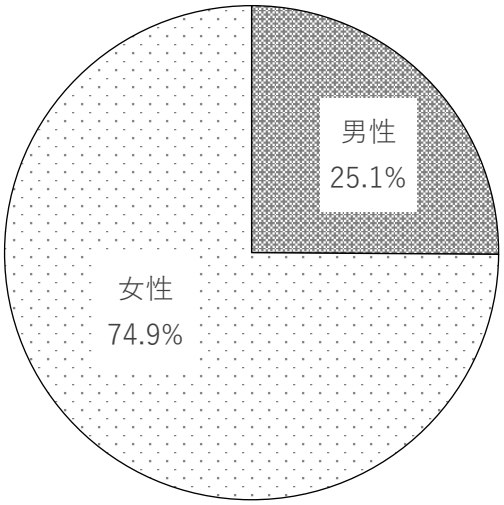
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

（2）実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=478）

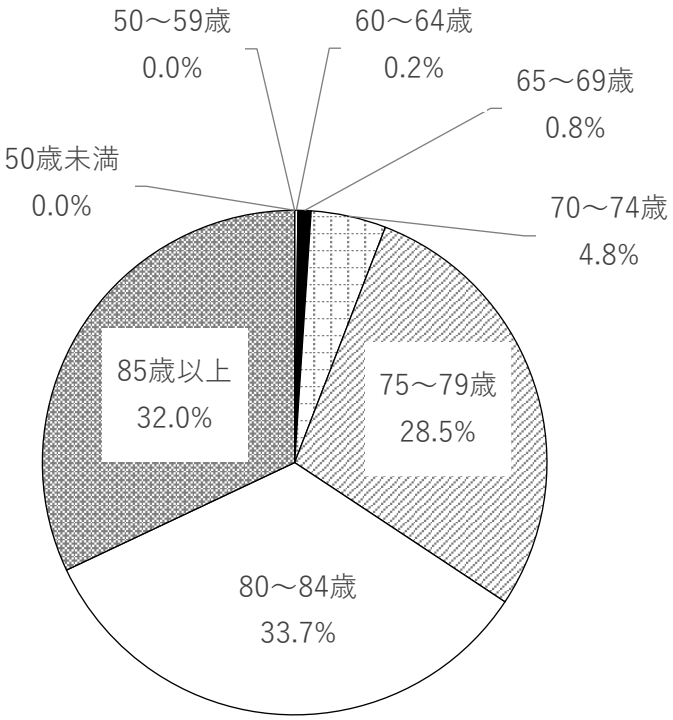
	回答数	割合
男性	120	25.1%
女性	358	74.9%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=478）

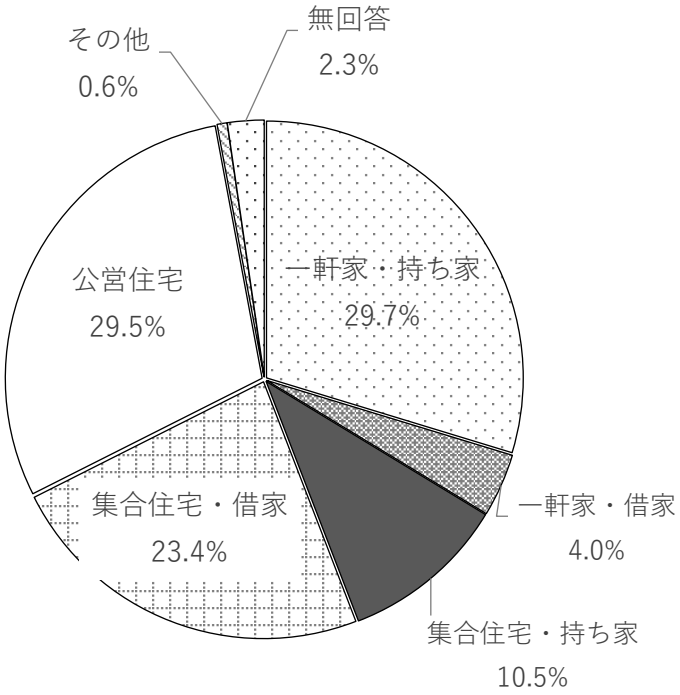
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	1	0.2%
65～69歳	4	0.8%
70～74歳	23	4.8%
75～79歳	136	28.5%
80～84歳	161	33.7%
85歳以上	153	32.0%
無回答	0	0.0%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=478）

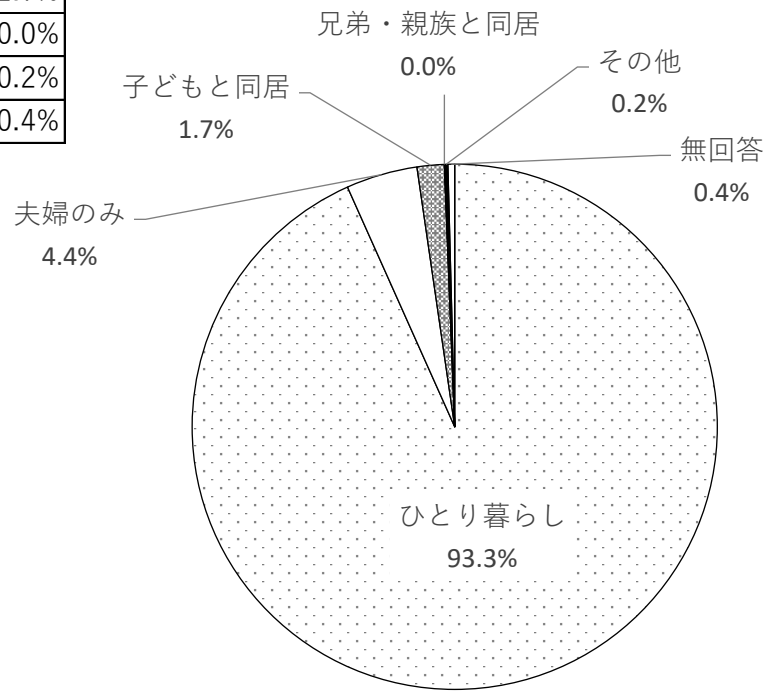
	回答数	割合
一軒家・持ち家	142	29.7%
一軒家・借家	19	4.0%
集合住宅・持ち家	50	10.5%
集合住宅・借家	112	23.4%
公営住宅	141	29.5%
その他	3	0.6%
無回答	11	2.3%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=478）

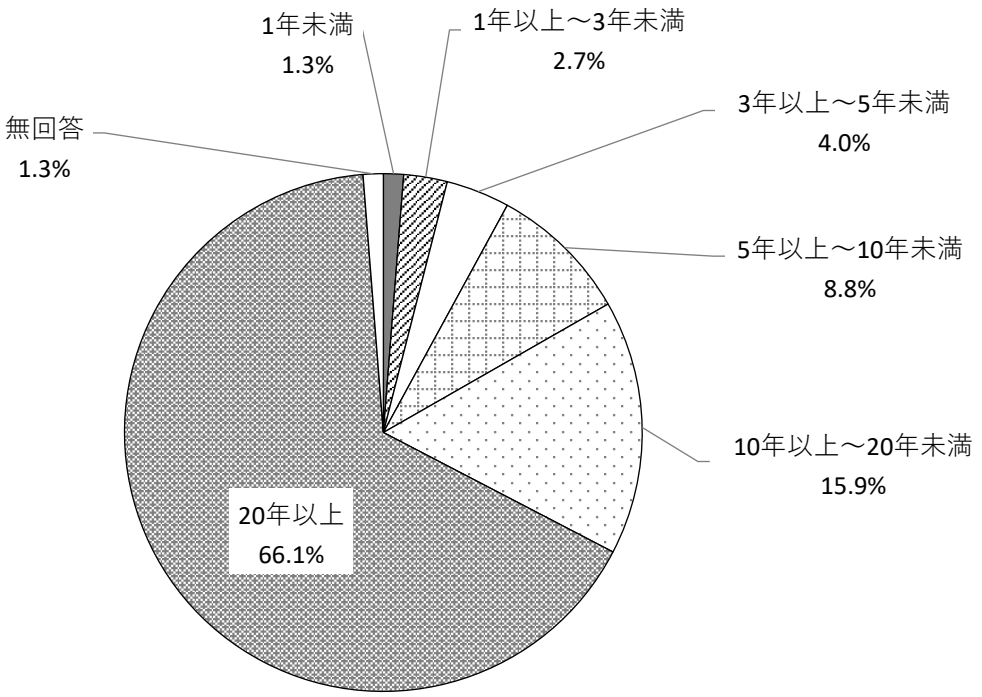
	回答数	割合
ひとり暮らし	446	93.3%
夫婦のみ	21	4.4%
子どもと同居	8	1.7%
兄弟・親族と同居	0	0.0%
その他	1	0.2%
無回答	2	0.4%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=478）

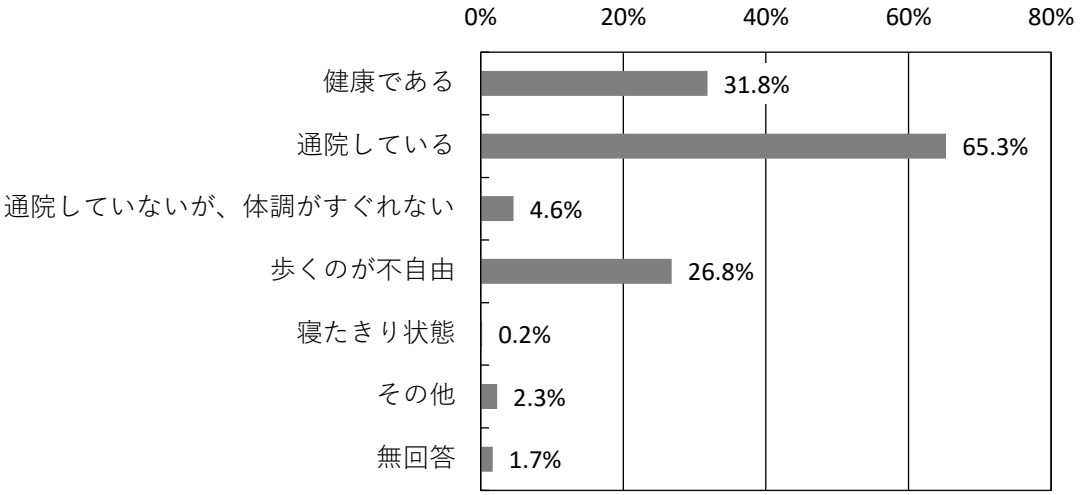
	回答数	割合
1年未満	6	1.3%
1年以上～3年未満	13	2.7%
3年以上～5年未満	19	4.0%
5年以上～10年未満	42	8.8%
10年以上～20年未満	76	15.9%
20年以上	316	66.1%
無回答	6	1.3%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=478）

	回答数	割合
健康である	152	31.8%
通院している	312	65.3%
通院していないが、体調がすぐれない	22	4.6%
歩くのが不自由	128	26.8%
寝たきり状態	1	0.2%
その他	11	2.3%
無回答	8	1.7%



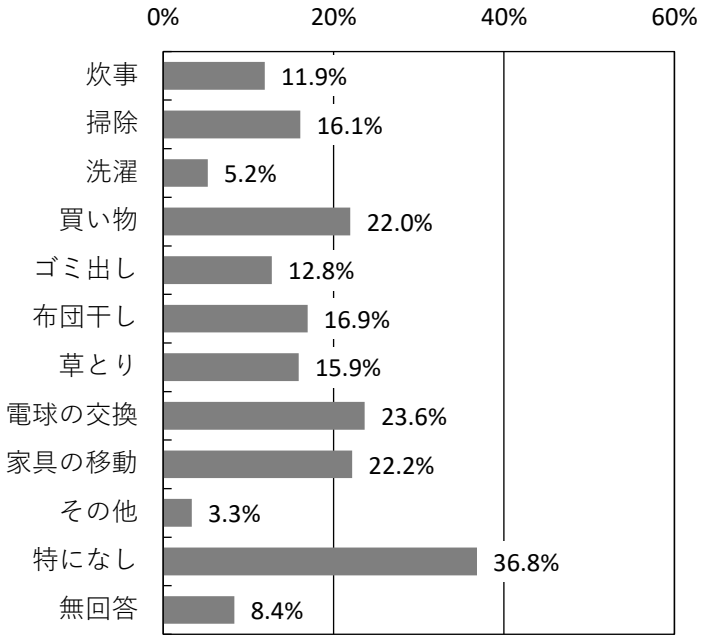
※複数回答

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他	無回答
全　体		478	31.8%	65.3%	4.6%	26.8%	0.2%	2.3%	1.7%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	100.0%	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	4	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	－	－	－
	70～74歳	23	21.7%	82.6%	－	8.7%	－	4.3%	－
	75～79歳	136	30.9%	64.0%	5.9%	14.7%	－	2.2%	1.5%
	80～84歳	161	32.9%	65.8%	2.5%	25.5%	－	1.9%	2.5%
	85歳以上	153	32.7%	64.7%	5.9%	41.2%	0.7%	2.6%	1.3%

問 7	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=478）

	回答数	割合
炊事	57	11.9%
掃除	77	16.1%
洗濯	25	5.2%
買い物	105	22.0%
ゴミ出し	61	12.8%
布団干し	81	16.9%
草とり	76	15.9%
電球の交換	113	23.6%
家具の移動	106	22.2%
その他	16	3.3%
特になし	176	36.8%
無回答	40	8.4%



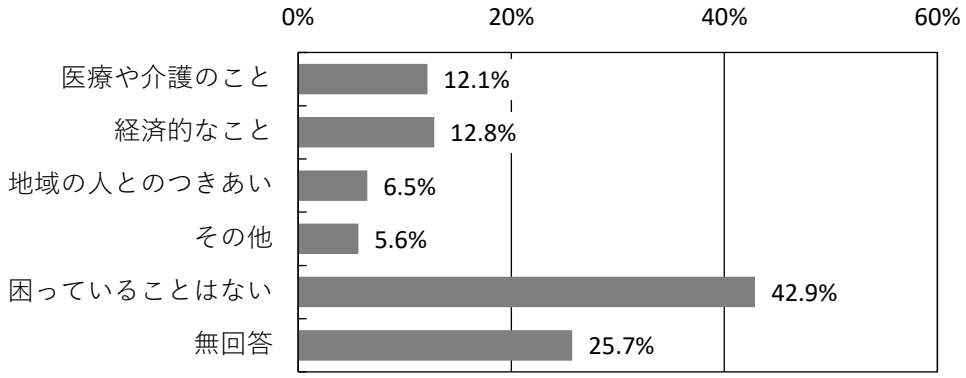
※複数回答

		サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		478	11.9%	16.1%	5.2%	22.0%	12.8%	16.9%	15.9%	23.6%	22.2%	3.3%	36.8%	8.4%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	－	－	－	－	100.0%	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	4	－	－	－	－	－	－	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	70～74歳	23	4.3%	4.3%	－	13.0%	13.0%	8.7%	4.3%	26.1%	26.1%	－	47.8%	－
	75～79歳	136	8.8%	14.7%	6.6%	14.7%	8.1%	10.3%	12.5%	22.8%	20.6%	2.9%	45.6%	7.4%
	80～84歳	161	9.3%	12.4%	2.5%	19.3%	8.1%	15.5%	14.3%	22.4%	20.5%	3.7%	37.9%	9.9%
	85歳以上	153	19.0%	23.5%	7.8%	33.3%	21.6%	26.1%	22.2%	25.5%	24.8%	3.3%	26.8%	8.5%

問 8	その他に、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=478）

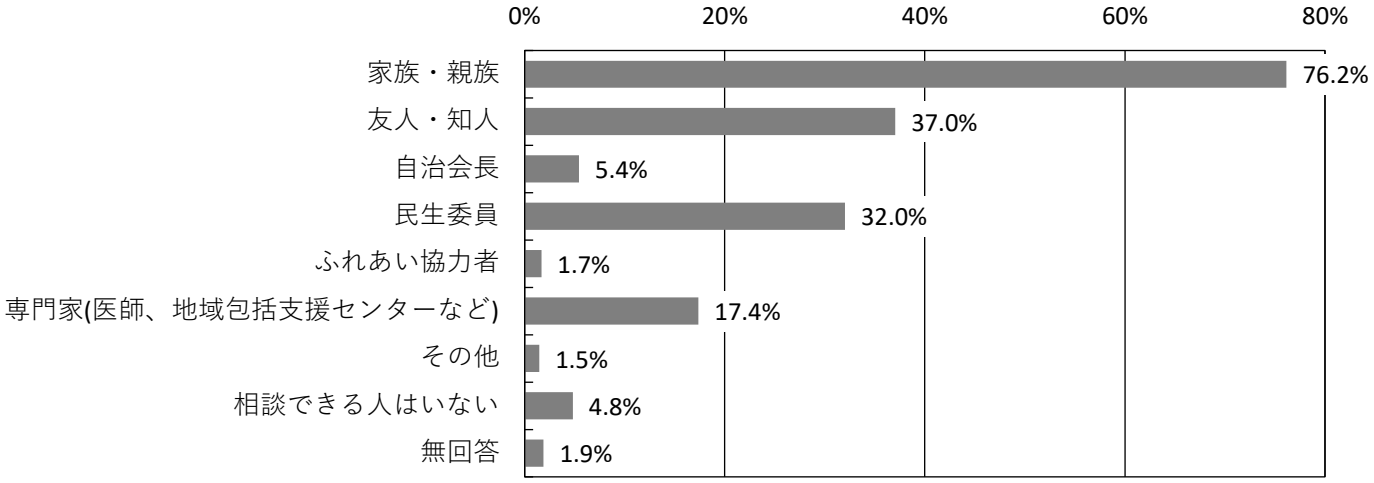
	回答数	割合
医療や介護のこと	58	12.1%
経済的なこと	61	12.8%
地域の人とのつきあい	31	6.5%
その他	27	5.6%
困っていることはない	205	42.9%
無回答	123	25.7%



問 9	困った時に相談する相手はいますか。（〇はいくつでも）

（N=478）

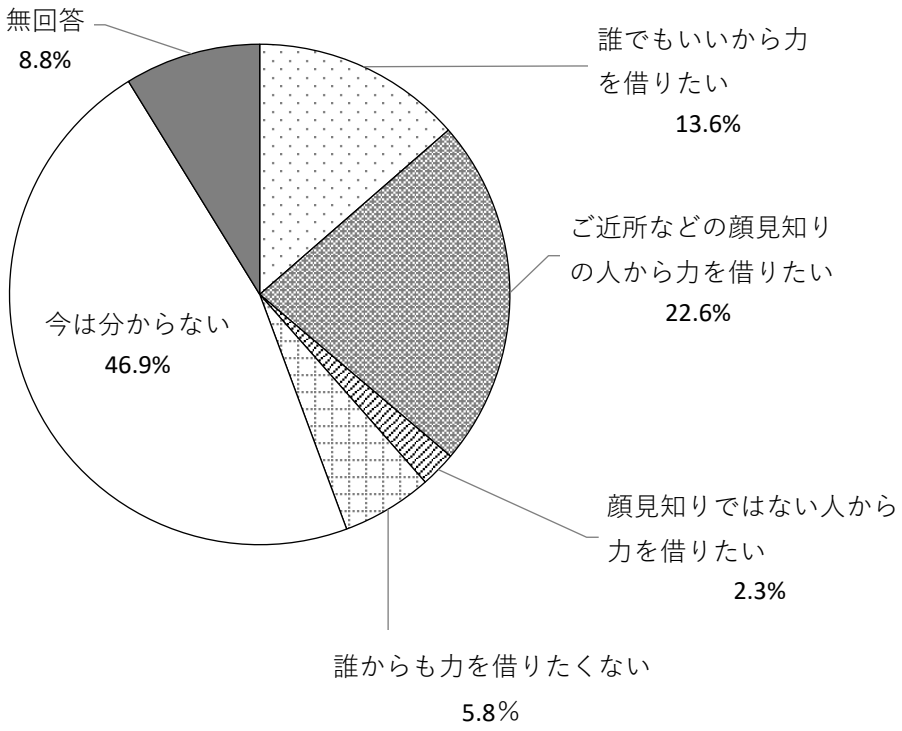
	回答数	割合
家族・親族	364	76.2%
友人・知人	177	37.0%
自治会長	26	5.4%
民生委員	153	32.0%
ふれあい協力者	8	1.7%
専門家(医師、地域包括支援センターなど)	83	17.4%
その他	7	1.5%
相談できる人はいない	23	4.8%
無回答	9	1.9%



問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

（N=478）

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	65	13.6%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	108	22.6%
顔見知りではない人から力を借りたい	11	2.3%
誰からも力を借りたくない	28	5.8%
今は分からない	224	46.9%
無回答	42	8.8%

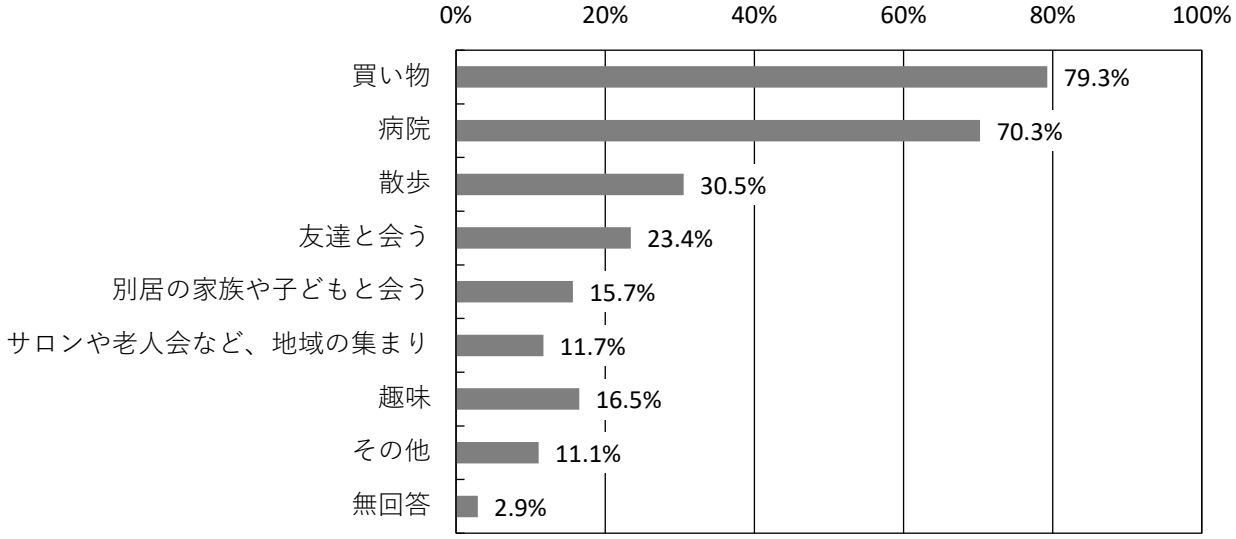


		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない	無回答
全　体		478	13.6%	22.6%	2.3%	5.9%	46.9%	8.8%
性別	男性	120	15.0%	18.3%	0.8%	6.7%	52.5%	6.7%
	女性	358	13.1%	24.0%	2.8%	5.6%	45.0%	9.5%

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=478）

	回答数	割合
買い物	379	79.3%
病院	336	70.3%
散歩	146	30.5%
友達と会う	112	23.4%
別居の家族や子どもと会う	75	15.7%
サロンや老人会など、地域の集まり	56	11.7%
趣味	79	16.5%
その他	53	11.1%
無回答	14	2.9%



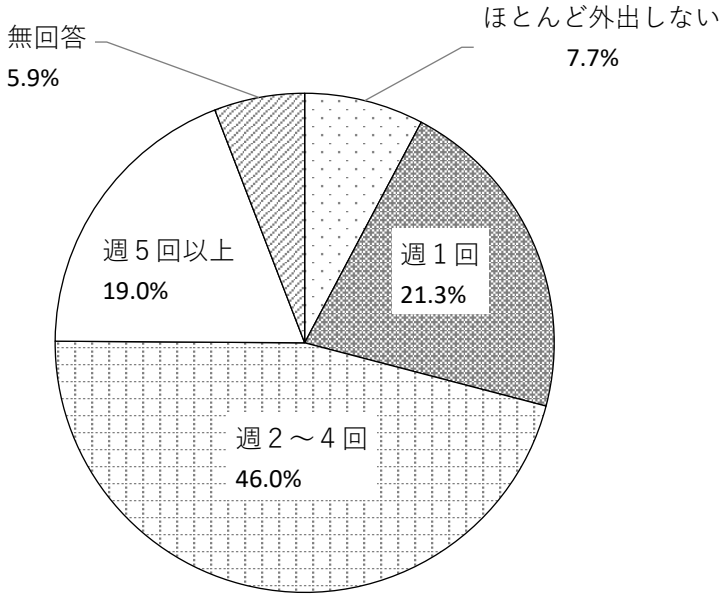
※複数回答

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答
全　体		478	79.3%	70.3%	30.5%	23.4%	15.7%	11.7%	16.5%	11.1%	2.9%
性別	男性	120	80.0%	60.8%	27.5%	17.5%	5.8%	3.3%	19.2%	11.7%	3.3%
	女性	358	79.1%	73.5%	31.6%	25.4%	19.0%	14.5%	15.6%	10.9%	2.8%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	100.0%	―	―	―	―	―	―	―	－
	65～69歳	4	50.0%	50.0%	25.0%	―	50.0%	―	―	―	25.0%
	70～74歳	23	82.6%	65.2%	26.1%	34.8%	26.1%	4.3%	17.4%	17.4%	4.3%
	75～79歳	136	81.6%	66.9%	30.9%	24.3%	16.9%	7.4%	19.9%	9.6%	2.2%
	80～84歳	161	85.7%	70.2%	34.8%	29.2%	11.2%	15.5%	16.8%	9.3%	2.5%
	85歳以上	153	70.6%	75.2%	26.8%	15.7%	17.0%	13.1%	13.7%	13.7%	3.3%

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=478）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	37	7.7%
週１回	102	21.3%
週２～４回	220	46.0%
週５回以上	91	19.0%
無回答	28	5.9%

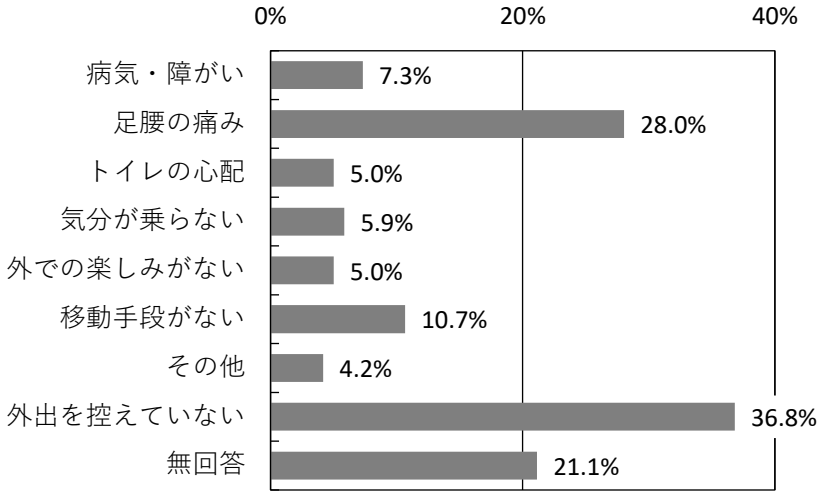


		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全　体		478	7.7%	21.3%	46.0%	19.0%	5.9%
性別	男性	120	5.8%	12.5%	50.8%	25.0%	5.8%
	女性	358	8.4%	24.3%	44.4%	17.0%	5.9%

問 13	以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=478）

	回答数	割合
病気・障がい	35	7.3%
足腰の痛み	134	28.0%
トイレの心配	24	5.0%
気分が乗らない	28	5.9%
外での楽しみがない	24	5.0%
移動手段がない	51	10.7%
その他	20	4.2%
外出を控えていない	176	36.8%
無回答	101	21.1%



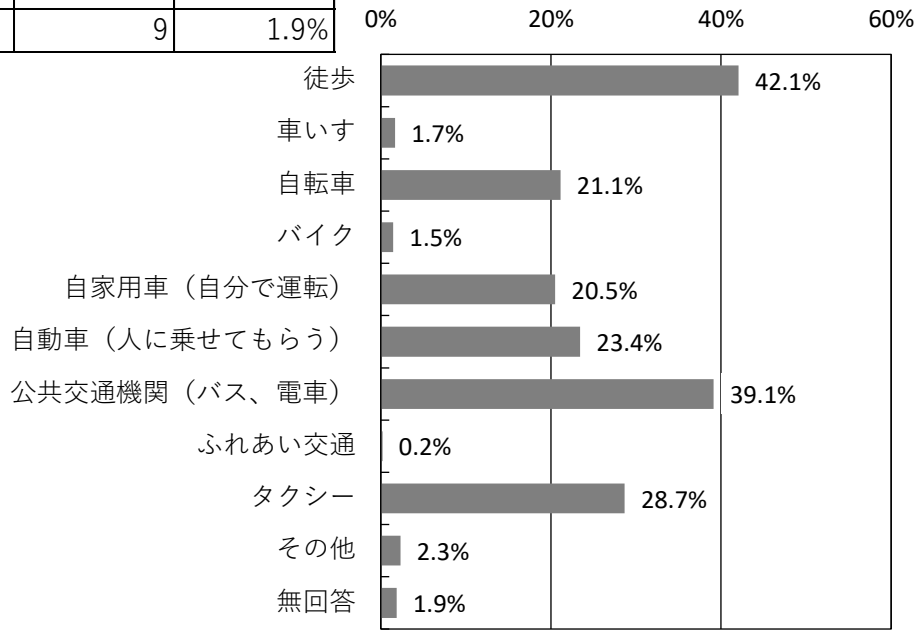
※複数回答

		サンプル数	病気、障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない	無回答
全　体		478	7.3%	28.0%	5.0%	5.9%	5.0%	10.7%	4.2%	36.8%	21.1%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	—
	65～69歳	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	—	—	—	—	50.0%
	70～74歳	23	13.0%	21.7%	—	4.3%	—	4.3%	—	52.2%	17.4%
	75～79歳	136	7.4%	15.4%	4.4%	8.1%	6.6%	8.8%	4.4%	48.5%	19.9%
	80～84歳	161	5.0%	29.2%	5.6%	4.3%	3.1%	9.3%	5.0%	34.2%	23.0%
	85歳以上	153	8.5%	39.2%	5.2%	5.2%	6.5%	15.0%	3.9%	27.5%	20.3%

問 14	外出する際の主な移動手段は何ですか。（〇はいくつでも）

（N=478）

	回答数	割合
徒歩	201	42.1%
車いす	8	1.7%
自転車	101	21.1%
バイク	7	1.5%
自家用車（自分で運転）	98	20.5%
自動車（人に乗せてもらう）	112	23.4%
公共交通機関（バス、電車）	187	39.1%
ふれあい交通	1	0.2%
タクシー	137	28.7%
その他	11	2.3%
無回答	9	1.9%



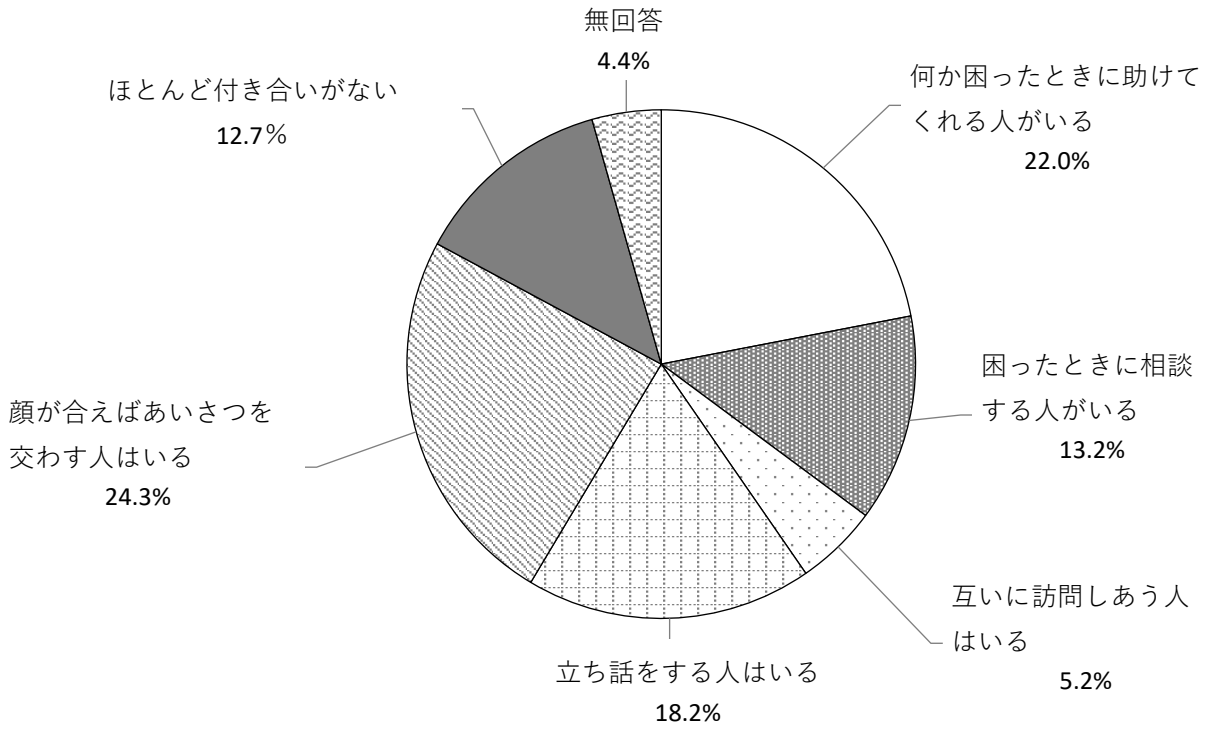
※複数回答

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関（バス、電車）	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答
全　体		478	42.1%	1.7%	21.1%	1.5%	20.5%	23.4%	39.1%	0.2%	28.7%	2.3%	1.9%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	―	100.0%	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	65～69歳	4	50.0%	25.0%	―	―	―	―	25.0%	―	25.0%	―	25.0%
	70～74歳	23	56.5%	―	34.8%	4.3%	34.8%	13.0%	47.8%	―	17.4%	―	―
	75～79歳	136	39.7%	0.7%	27.9%	―	34.6%	16.2%	42.6%	―	22.1%	1.5%	1.5%
	80～84歳	161	47.2%	1.9%	25.5%	2.5%	16.1%	25.5%	49.1%	―	26.1%	1.9%	2.5%
	85歳以上	153	36.6%	1.3%	9.2%	1.3%	11.1%	30.1%	24.8%	0.7%	39.2%	3.9%	1.3%

問 15	あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

（N=478）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	105	22.0%
困ったときに相談する人がいる	63	13.2%
互いに訪問しあう人はいる	25	5.2%
立ち話をする人はいる	87	18.2%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	116	24.3%
ほとんど付き合いがない	61	12.7%
無回答	21	4.4%

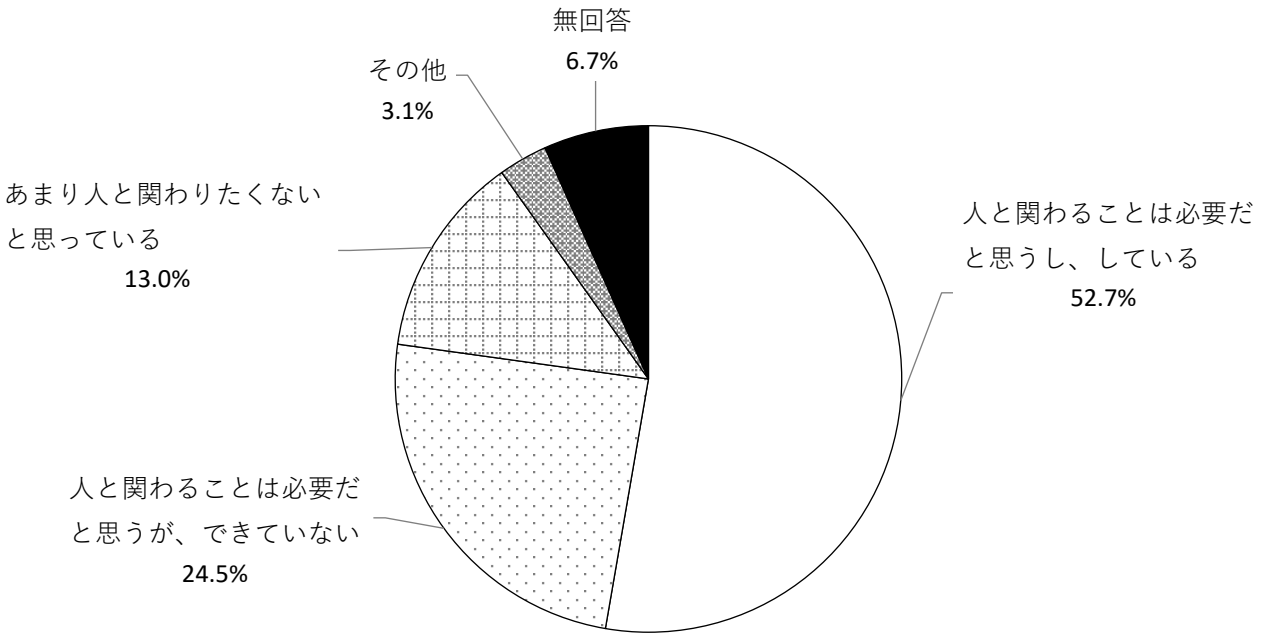


		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		478	22.0%	13.2%	5.2%	18.2%	24.3%	12.8%	4.4%
性別	男性	120	15.8%	10.8%	4.2%	15.0%	25.0%	24.2%	5.0%
	女性	358	24.0%	14.0%	5.6%	19.3%	24.0%	8.9%	4.2%

問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

（N=478）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	252	52.7%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	117	24.5%
あまり人と関わりたくないと思っている	62	13.0%
その他	15	3.1%
無回答	32	6.7%

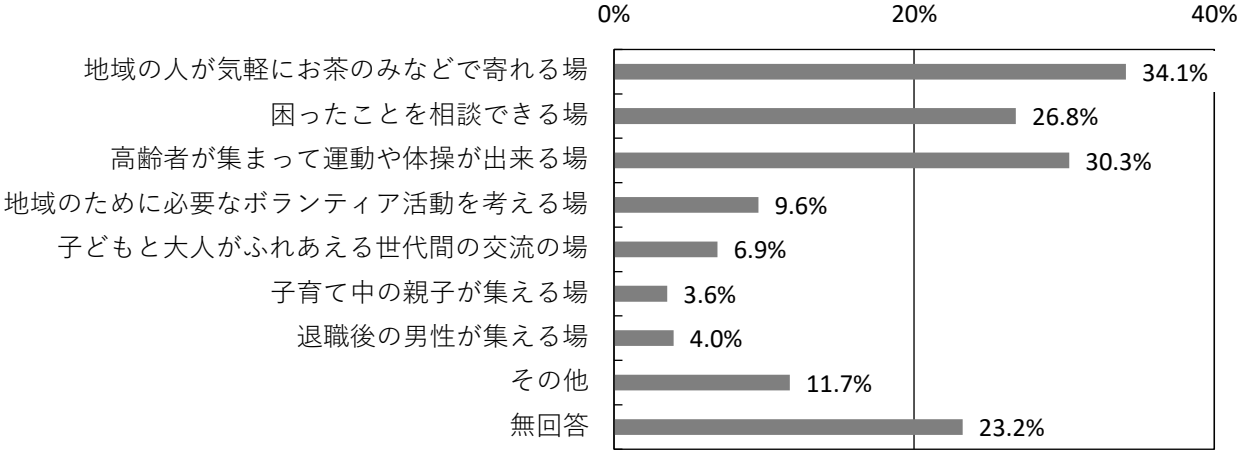


		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全　体		478	52.7%	24.5%	13.0%	3.1%	6.7%
性別	男性	120	46.7%	27.5%	19.2%	3.3%	3.3%
	女性	358	54.7%	23.5%	10.9%	3.1%	7.8%

問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=478）

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	163	34.1%
困ったことを相談できる場	128	26.8%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	145	30.3%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	46	9.6%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	33	6.9%
子育て中の親子が集える場	17	3.6%
退職後の男性が集える場	19	4.0%
その他	56	11.7%
無回答	111	23.2%



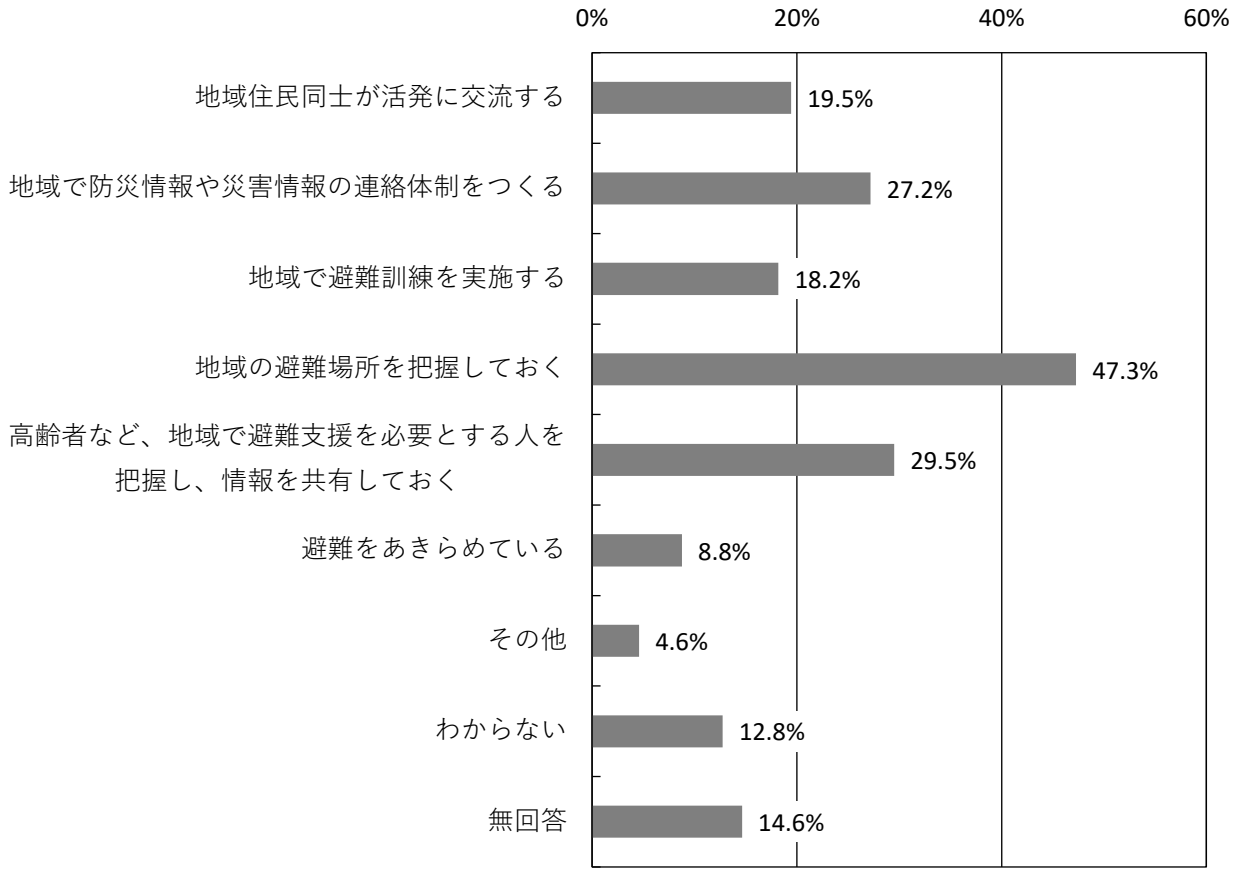
※複数回答

		サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全　体		478	34.1%	26.8%	30.3%	9.6%	6.9%	3.6%	4.0%	11.7%	23.2%
性別	男性	120	24.2%	25.8%	26.7%	9.2%	5.0%	0.8%	6.7%	13.3%	22.5%
	女性	358	37.4%	27.1%	31.6%	9.8%	7.5%	4.5%	3.1%	11.2%	23.5%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	—	100.0%	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	4	—	25.0%	—	—	25.0%	—	—	—	50.0%
	70～74歳	23	47.8%	34.8%	30.4%	17.4%	—	—	—	8.7%	21.7%
	75～79歳	136	28.7%	23.5%	25.0%	14.7%	8.8%	4.4%	5.9%	12.5%	27.2%
	80～84歳	161	39.1%	27.3%	35.4%	8.7%	5.6%	1.9%	5.0%	8.7%	20.5%
	85歳以上	153	32.7%	27.5%	30.7%	5.2%	7.2%	5.2%	2.0%	15.0%	22.2%

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=478）

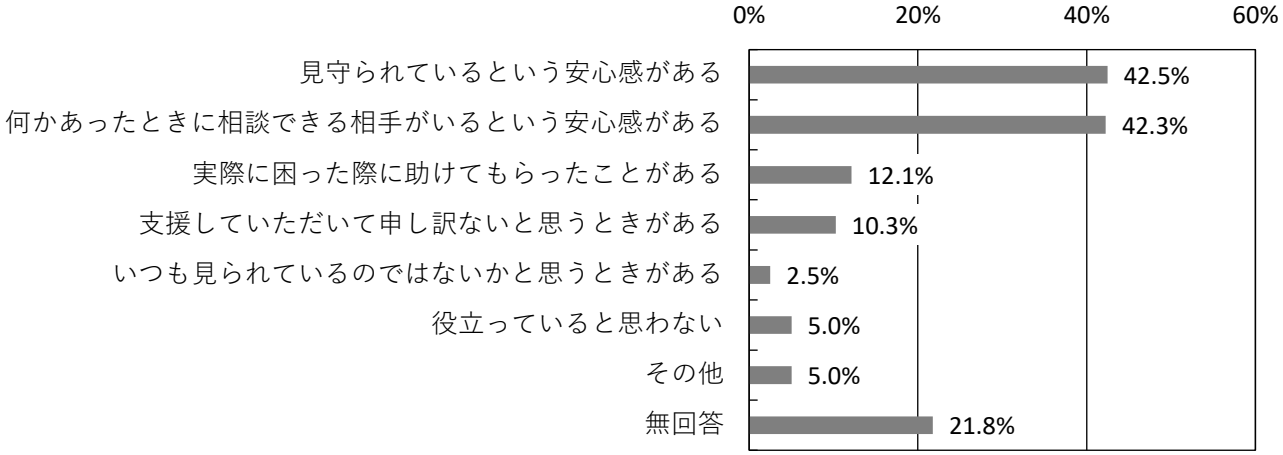
	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	93	19.5%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	130	27.2%
地域で避難訓練を実施する	87	18.2%
地域の避難場所を把握しておく	226	47.3%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	141	29.5%
避難をあきらめている	42	8.8%
その他	22	4.6%
わからない	61	12.8%
無回答	70	14.6%



問 19	「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（〇はいくつでも）

（N=478）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	203	42.5%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	202	42.3%
実際に困った際に助けてもらったことがある	58	12.1%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	49	10.3%
いつも見られているのではないかと思うときがある	12	2.5%
役立っていると思わない	24	5.0%
その他	24	5.0%
無回答	104	21.8%



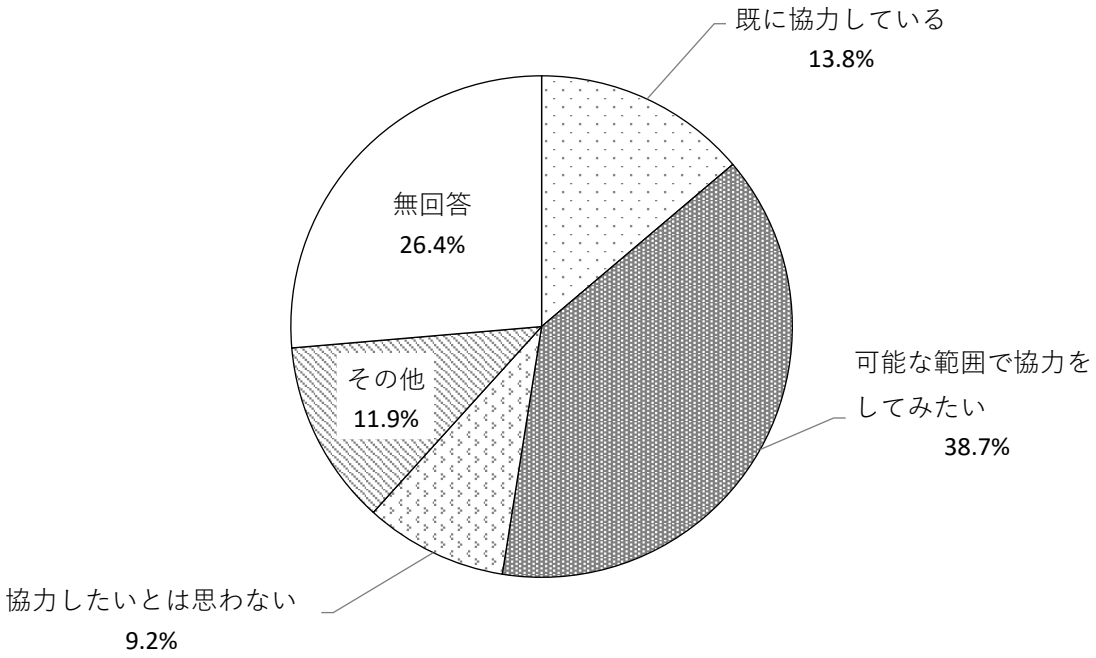
※複数回答

		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援をしていただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答
全　体		478	42.5%	42.3%	12.1%	10.3%	2.5%	5.0%	5.0%	21.8%
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	1	―	100.0%	―	―	―	―	―	―
	65～69歳	4	―	―	―	―	―	25.0%	―	75.0%
	70～74歳	23	34.8%	17.4%	4.3%	―	―	17.4%	17.4%	17.4%
	75～79歳	136	40.4%	42.6%	12.5%	11.8%	2.2%	7.4%	3.7%	21.3%
	80～84歳	161	42.2%	46.0%	13.7%	10.6%	3.1%	1.2%	4.3%	21.7%
	85歳以上	153	47.1%	42.5%	11.8%	10.5%	2.6%	4.6%	5.2%	21.6%

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

（N=478）

	回答数	割合
既に協力している	66	13.8%
可能な範囲で協力をしてみたい	185	38.7%
協力したいとは思わない	44	9.2%
その他	57	11.9%
無回答	126	26.4%



津留地区社会福祉協議会　地域福祉活動計画	
発　行　日	令和７年５月
発　　行	津留地区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係 〒８７０－０８３９ 大分市金池南１丁目５番１号　J：COM ホルトホール大分４階 ℡　０９７－５４７－７４１８